夕刊　十月二日

定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三一〇五 營業局專用(3)三二〇〇
發行人 十河攀忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

德州縣城を空擊
敵遁走軍用列車粉碎
軍用船五十隻擊沈す

【天津一日發國通】津浦線運鎭を攻略せるわが急追部隊の南進に呼應して一日午前十前頃勇躍根據地を出發した〇〇機は見事な編隊を作り一氣に德州上空に飛來、折柄德州驛に停車中の軍用列車卅輛および南方へ向け進行中の列車を發見直ちに爆擊を敢行、これを完全に爆破し更に機首を西方に轉じ湖水と化した德州西方で敵の小型軍用船四、五十隻にこれ又猛烈な爆擊を加へ全部擊沈し歸還した、なほわが急追部隊は正午頃山東省境を越え桑園より德州へ向け敗走中の殘敵を急追しつゝ猛進擊を續行中である

皇軍山東省境を突破

【天津一日發國通】津浦線上の我南進部隊は破竹の勢をもつて猛進、さながら無人の境を行くが如く卅日運鎭を拔いて更に南進、沛然たる驟雨を衝いて一日拂曉遂に山東省境を突破午前十時半德州を去る五里の桑園站を占領した、山東省北部の要衝德州縣も今や瀕死の運命にある

我軍山東進入に敵狼狽
南京軍二ヶ師急遽北上す

【天津一日發國通】わが先頭部隊の桑園站占領により德州城は既に累卵の危機に立つてゐるが、當面の敵は馬廠、滄州でわが軍の猛擊に潰滅に瀕した吳克仁の百十七、杜繼武の百十八師、繆澂流の百十六師、龐炳勳の卅九師および廿九軍の殘兵等約五萬であるが、敵はわが軍の山東進入を阻止せんとして必死となり、最近中央軍二ヶ師を德州へ北上せしめたと傳へられるが、重なる戰敗に支離滅裂となつて陣容を立て直す餘裕もなく、早くもわが軍進擊の際に浮足立つてゐる

卑怯なる支那兵
外國旗を立て、抵抗
大西部隊之を殲滅

【上海一日發國通】艦隊報道部一日午後九時發表　海軍陸戰隊佐野、土師兩部隊は北四川路方面より逐次閘北にある支那軍を北方に壓迫してゐるが、この戰場は堅固な建築櫛比ししかも迷路縱橫に走り最も地域複雜な個所で、過ぐる上海事變にも幾多の激戰が繰返へされたところである、陸戰隊は巧みに戰闘を進め海軍航空隊の爆擊および陸戰隊の砲擊と相協力して堅固な家屋を占據し、わが進擊を阻む敵を擊退して猛擊を續けてゐる、中にも一日の佐野部隊の勇戰目覺しく正午頃頑强な敵部隊の據つてゐた啓秀女子中學校を占領して目下三義里方面の敵と對峙しつゝあり、卅日來寶山路、寶興路交叉點方面よりわが軍を惱まし續けた敵迫擊砲陣地は斥候によつてナチス旗を掲げた建築物の中にあるを發見、わが大西少佐の率ゐる部隊は敵の左右よりこの敵を奇襲して猛擊を浴せ潰滅せしめた、これがためわが戰線は有利に展開しつゝあり、なほこの戰闘で卅日宮崎大尉は重傷を負ひ則内特務中尉および林一等水兵は戰死を遂げた

我航空部隊 德州を爆擊

【天津二日發國通】一日午後三時三十分我が航空部隊〇〇機は再度津浦線德州上空に現はれ德州近郊に集結中の敵裝甲列車數個列車および德州後方の敵集結地區に爆擊を加へ歸還したが、同空襲部隊の偵察報告によれば、わが地上部隊は既に德州北方一里の地點にて裝甲列車と對峙、これを南方に壓迫しつゝあり、德州

英國對支援助か
英支共同のデマ戰術
ドイツ新聞一齊反駁

【ベルリン一日發國通】ドイツ政府筋に達した情報によれば、さきに廣東爆擊以來英國政府の態度硬化し、既に高射砲、飛行機等の積出に着手したと傳へられるが、ドイツ政府は英國がまたもやスペイン政府軍支持の場合と同じくソヴイエト聯邦と共同戰線に立つものと斷定して頗る憤慨してゐるといはれる、しかして英國の處置が英紙の計畫的な反日デマにより誘導され、しかも反獨デマが巧妙に織り込まれてゐる事實に鑑み一日附ドイツ新聞紙は一齊にかゝるデマ報道反駁の强硬記事を掲げた

支那のデマ露骨
英の反日氣勢を煽る

【ロンドン一日發國通】支那軍の全面的敗退に狼狽した支那側のデマ宣傳はいよいよ露骨を加へて來た、蔣介石夫人宋美齡が連日勞働黨機關紙デーリー・ヘラルド紙に與太電報を打電するほかロンドン駐劄支那大使館は毎日のやうに日本軍を中傷するニユースを公表して英國民の反日氣勢を煽つてゐる、その上在支外國通信員を動かすなどの間接方法も併用、絶對絶命泣き落し政策で感情的な英國民の憐憫を得んと必死になつてゐる

革命軍攻略で政府軍屈服
早くも豫備商議開始か

【パリ卅日發國通】パリ外交界の消息によれば、スペイン革命軍はサンタンデルの要衝攻略により最後の勝利を確信するに至つた結果早くも内亂の終熄を豫想し、最近カタロニア、ヴアレンシア兩人民戰線政權の代表者と折衝して豫備商議を開始したといはれる　革命政權側は交渉にあたり領土保證の如き妥協條件を提示、政府軍の受諾を求める意向と傳へられるが、會談は未だ萌芽的段階を出でず早急に内亂終熄を豫測することは出來まいといはれる

ソ聯大使を宮中にお召
午餐會御催し

【東京國通】天皇陛下には來る四日午後零時半、さきに着任したソ聯大使スラウツキー氏を宮中豐明殿に召され、李王殿下にも御臨席、松平宮相廣田外相以下も陪席仰付られ午餐會の御催しをあらせられる旨一日仰出された

廿數萬の大軍
わが猛擊で潰走
戰史を飾る山岳戰

【天津一日發國通】山西北部の峨々たる恒山々脈の内長城線に據り頑强にわが南進を阻んでゐた閻錫山の山西軍及び中央軍、共産軍の十數個師二十餘萬に對し我軍は靈邱、茹越口、雁門關等内長城を東北より包圍して猛擊、絶壁峻嶮を重ねる山岳地帶に今事變始まつて以來の大激戰を展開、西方朔縣の占領と相俟つて遂に大營鎭、繁峙、代州を確保し、敵大軍を潰走せしめた、これこそ大行、呂梁三山脈にわたる大山岳戰において難攻を極める地勢を克服し眼に餘る敵二十餘萬の大軍を寡兵よくこれを擊破したるわが方の卓越せる戰術を示すものでわが戰史を飾る最も輝かしき一つである

醜態極まる
支那の空軍 四川に遁走

は日徒の間にせまつてゐる

【天津二日發國通】去る廿七日平漢線新樂においてわが〇〇機のため擊墜された敵戰闘機の射手が捕虜となつて天津へ後送されて來たが、同捕虜の語るところによれば、彼等は南京で四ヶ月地上訓練を受けたのみで無理無態に戰場に引張り出されたもので支那空軍は全く戰意なく給與俸給も行きわたらず、地上勤務者の如きは戰時雇ひがこれに當てられ正式飛行士等は四川省の奥地へ逃走し出征を極度に愼れてゐる模樣で、支那空軍も自國の敗戰を確實に認めてゐる

二日朝までの支那各地戰況

△平綏線方面　意氣衝天の察哈爾作戰軍は重疊たる山嶮を突破、雁門關一帶の長城線を突破して代州平原に進擊、首都太原も今や指呼の間にあり、この快速進擊に狼狽した山西省政府機關は卅日すでに臨汾に移轉した

△平漢、津浦線方面　津浦線方面の南下進擊物凄く、わが先鋒はすでに山東省境を突破桑園を占領、山東北部の要衝德州縣城の運命も旦夕に迫つてゐる中部及び平漢線方面共殘敵掃滅中にして廣漠たる河北平野に今や殘兵を見ず

△上海方面　羅店鎭、大場鎭をつなぐ要衝劉家行の堅壘は一日午後つひに皇軍の占領するところとなり、上海戰線に一段の進展を見せた一方北四川路方面の戰闘も陸戰隊の勇戰にて刻々有利に進展、壯烈なる市街戰を隨所に展開しつゝ全線にわたり猛進をつゞけてをり、右翼部隊は三義里、左翼部隊は蘇司克面路の線にまで進出、敵は完全にわが重圍の中にある

△南支方面　海軍航空隊は又復廣東を空襲して飛行場ならびに廣東艦隊を爆擊、海防艦海周を爆沈した

乘らないと銃殺される
敵飛行士語る

【保定一日發國通】去る九月廿七日午前十時清風店附近においてわが牛島部隊のため擊墜された敵の飛行機操縱者は目下顏面に火傷を負ひ保定に收容されてゐるが記者は卅日彼を訪れて一問一答を試みたこの操縱者は第廿七飛行隊上等兵機關士陳繼修（二五）である

問　君の出身地は何處か
答　浙江省江山生れだ
問　いつ飛行機に乘るやうになつたのか
答　江山で雜貨商をしてゐたところ機關に心得のある者は全部召集され洛陽で二週間の訓練を受け、直ぐ飛行機に乘せられ太原に行つたゞけで何をするのか一寸も解らなかつた
問　飛行機に乘つたのは初めてか
答　全くの初めてです
問　君の乘つて來た飛行機はどんな飛行機か
答　アメリカ製ローリエ・型爆擊機で機關銃二基付です
問　洛陽、太原の樣子はどうか
答　太原にはまだ輕爆七、偵察二、戰闘機十一機がある外國人の飛行士はゐない
答　事變前まではアメリカ人とロシア人がゐたさうだが今はゐない
問　支那軍の待遇はどうか
答　給料など貰つたことはない、飛行機に乘らなければ銃殺されるので仕方がないから乘ります、爆擊をして無事に歸つて來ると御馳走して呉れるが賞金などは何も呉れない
問　日本軍をどう思ふか
答　こんな强い軍隊とは夢にも知らなかつた
問　捕へられてからの感想はどうか
答　親切に傷の手當をして呉れ食物は充分與へて呉れるし有難いことだと思つてゐる

劉家巷遂に陷つ
猛攻田上部隊の殊勳

【上海一日發國通】羅店鎭、大場鎭を繫ぐ木街道上最要點の劉家巷も田上部隊の勇猛果敢な猛擊により一日午後三時四十分遂にこれを完全に占領し、顧家宅を始め大場鎭、江灣鎭の敵に對し一大脅威を與へることゝなり、和知、永津兩部隊の羅店鎭方面進出とゝもに上海戰史に永く殘さるべき功績を樹てた、細見戰車隊は、數日前すでに劉家巷の一角に突入したが、頑强な敵は劉家巷東北端より南方劉家橋方面に流れるクリークの線に半永久的トーチカ陣地を構築して抵抗を續けるため、わが軍はその進出を阻まれてゐたが、田上部隊は廿九日より對壕作戰により步一步クリークの線に接近、卅日夕刻までにこの作業は完了したが、この間わが砲兵部隊、陸軍航空部隊はクリーク兩岸の堅固な敵陣地に猛烈な砲擊、爆擊を加へ步兵部隊の突擊を掩護した工兵隊は夜に入るとゝもに夜闇を利用してクリークを渡河し材料を第一線に運搬、一日朝東天白む午前五時半一切を完了し、その決死隊は煙幕を展蔽し敵彈雨飛の中に架橋工事を敢行した時はよしと田上部隊の中富、田中、垣内部隊は命令一下勇壯な突擊を敢行、一氣にクリークを渡り敵陣に突入すれば戰車隊は劉家巷東北端本道より敵を蹂躪、砲兵隊は劉家巷南端より劉家橋北側に亘る一帶の敵に對し猛烈な砲擊を加へた　この砲兵、步兵、工兵各隊の完全な連絡と、クリークよりする猛擊にさしもの頑强な敵も數ヶ月間を費して構築した堅固な陣地を捨て雪崩をうつて潰走した、わが突擊部隊はこれを急追し午後三時四十分までには劉家巷西側を流れるクリークの線まで進出し、引續き殘敵を掃蕩中である

ソ聯、行政區劃を分割
中央集權企圖

【東京國通】某所着情報によれば、九月下旬以來ソ聯邦においては現行々政區劃の州および地方を二乃至三の州および地方に分割した　例へば東部シベリヤにおいてはチタとイルクーツク州に、西部シベリヤはノヴオシビリスク州とアルタイ地方に分れた、これは恐らく地方廳の勢力を減殺し中央集權の確立をはからんとする意圖に基くものとみられる

伊反對で三國會談暗礁に乘上ぐ

【ロンドン卅日發國通】ロンドン駐劄イタリー大使が廿九日イーデン外相に對し英佛伊三國會議においてスペイン義勇軍撤收問題を討議することに反對を表明したゝめ三國會議の前途は俄然多難を豫想されるに至つたが、イタリーの反對理由は大體つぎの通りといはれる

一、義勇軍撤收問題は既に不干渉委員會に附議されてゐるから今さら三國會談において同問題を討議することは無意義である
一、義勇軍撤收問題は交戰權承認問題と切りはなして解決しないであらう
一、義勇軍撤收問題は英佛伊三國以外の諸國にも關係あり、三國間の商議だけで處理すべきものではない

結局イタリー政府は英佛伊三國にドイツを加へて四ヶ國會議としたい肚とみられるがソヴイエトを除外してドイツのみを參加せしむる事には種々難點があり、英佛兩國が如何なる態度をとるか注目される

焰の愛機諸共
壯烈、坂本少佐の死
首都空襲の華と散る

【上海一日發國通】去る廿五日海軍航空隊の第七次南京空襲において爆擊の目標下關電燈廠目がけて爆擊中、敵の高角砲彈を受けて戰死を遂げた坂本次文少佐（當時大尉）の戰死こそは壯烈極まる最期だつた、同日田中大尉指揮の三番機に乘込んだ坂本少佐は、下關電燈廠上空に達するや、敵の猛烈な高角砲射擊の中に突入して一番機田中大尉、二番機大木一等航空兵に續いて見事なダイビングに移り、約三千米を急降下した、この時坂本少佐は〇〇部に敵彈を受けあつと思ふ間もなく機體は火焰に包まれ、坂本少佐とその同乘員脇目秀司一等航空兵曹は機體諸共流星のやうに下關の江邊に落下、敵の首都空襲の華と散つたのだつた

坂本少佐は昭和七年十一月飛行學生となり、飛行は自分の天職だといつてゐた、空の勇士ベールダイブ爆擊の勇士である、又爆擊機隊指揮の第一人者であつて航空隊に入つてより爆擊の方面を擔任し、その訓練した部下は何れも優秀な技術を今次の戰闘に發揮してゐる　坂本少佐は九月廿日〇〇基地に着くや翌々廿二日には早くも南京空襲に參加、航空廠爆擊に見事な手腕を現し、廿三日には江灣空爆で平海型巡洋艦を擱坐せしめ廿五日第三回目に出動惜しくも戰死したものである

永津部隊が東朱宅占領

【羅店鎭二日發國通】永津部隊は一日午前八時頃前面の敵主力部隊を郭巷橋クリーク交叉點に追ひつめ迫擊砲、機關銃の集中射擊をもつて敵に大打擊を與へ、引續き前進敵の重要據點東朱宅を攻擊した、東朱宅は羅店鎭、劉家行を連ねる自動車路の中央地點にある重要點なので敵はこの據點を渡さじと必死の防戰を試みたが、その甲斐なく正午頃遂に多數の武器と死體を遺棄して西方に潰走した、東朱宅の占領で戰局の飛躍的發展が期待されるに至つた、和知部隊は一日午後空軍の協力を得て羅店鎭西方約二キロの地點より北周宅敵陣地に對し果敢なる進擊を敢行、午後五時頃先鋒部隊は楊家村部落の東部に進擊し頑强に抵抗する敵と手榴彈戰を演じつゝ激戰中

桑園站占領 天津軍發表

【天津一日發國通】天津軍一日午後四時發表　津浦線に沿ひ追擊中のわが部隊は一日午前十時半德州の北方桑園站を占領せり

衆議院慰問團 軍司令部訪問

【天津一日發國通】上田孝吉氏以下十名の衆議院議員北支派遣皇軍慰問團一行は一日來津、軍司令部を訪問、午後二時半官邸に寺内軍司令官を訪問慰問の辭を述べたが午後四時より天津陸軍病院、南開大學などを慰問し、二日は北平に向ひ、三日頃より一部は前線保定に赴く筈

人事往來

着京

▲渡金壽一氏（請負業）二日來京富士屋旅館
▲大野久治氏（商業）一日來京新京ホテル
▲町野四郎三郎氏（米穀檢查員）同
▲杉山俊郎氏（官吏）同國際ホテル
▲笠間紬之助氏（官吏）同
▲山本洋暉氏（商業）同富士屋旅館
▲下河原金平氏（東京區會議員）同
▲永濱天一氏（會社員）同

その日〳〵

□ 壽府でこしらへる上海電報があるといふ、確かに電報料の節約にはなるが
□ そんなもので動く二十三ヶ國委員會なら、まさに問答は無益
□ 事實は何ものよりも雄辯、北支にひらける明朗風景を見るがよい
□ 上海の支那諸銀行南京へ避難するとか、だがその次には何處へ行く
□ さすが飛行士は長驅して四川まで逃げてゐるさうな、負けて逃げるを地で行つて

街に霧雨の降る風景

あすは晴れやう

而し氣溫はこれからぐんと下る

◇◇◇海拉爾では既に降雪

□…二日朝 はしつぽりとした時雨模様に明け、霧は街一ぱいに白い牛乳のやうにたちこめ街頭を行く人はあだかも冬の合圖を聞いた様に一齊に黒いオーバーに寒むざむと兩手をつつ込めて歩いてゐた、氣溫は豫想外に高く二日朝六時の最低が八度三分で底冷へを人體に感ずるのは時雨模様の爲である、滿洲東部から天津へかけて

□…不連續 線が連なり哈爾濱北及び大連南方は目下の處天氣良好で海拉爾には少量の降雪があり、興安嶺以北は全部零度以下に降下した、新京では不連續線の移動に依り夕刻より漸次好轉し三日は快晴の見込みであるが氣溫は更にぐんと下る模様

時艱に耐へる決意

「國民精神總動員」

あす西廣場で滿鐵地方課が大講演會開催

非常時に處する銃後國民の精神訓練については各機關呼應して一齊に實行の火蓋を切つたが新京に於いても滿鐵新京支社地方課が主催となり三日午後三時から西廣場滿鐵倶樂部に於て「精神總動員大講演會」を開催することになつた講師は斯界の權威大正大學文學部長文博矢吹慶輝、日本女子大學敎授生江孝之兩氏で演題は〃精神總動員と我民族の使命〃（矢吹慶輝）〃東亞に展けんとする新社會の翹望〃（生江孝之）で今や擧國精神總動員の秋全市民擧つて來聽を望むと、なほ入場料は一切無料である

モヒ患盜む

本籍朝鮮慶尚南道浦項邑大正町、住所不定梅田孝一こと李在春（二四）は元特別市五馬路日光樓、大經路食道樂かめや等に於てボーイとして働いてゐたがモヒ中毒で失職し生活に窮し卅日午前八時半頃城内五馬路料理店吾妻樓の勝手口より侵入し折柄人無きを奇貨に帳場、仲居部屋を物色錦紗の衣類二點、金椽眼鏡一箇座蒲團等時價約八十圓を窃取しこれを五馬路新市場モヒ窟に隱匿潜伏してゐたが一日午前七時頃領警署岩田刑事が臨檢司人を發見逃走せんとするを追跡して逮捕した目下餘罪につき嚴重追窮中である

橫領職工捕はる

長野縣生れ特別市大經路崇井鐵工所元職工塚田光雄（二七）は同所に勤務中去る八月より九月上旬に至る間店の金三百圓を橫領なしたるほか市内のカフエー飲食店に於て無錢遊興し惡事發覺を恐れて逃走以來指名犯として領警署で搜査中であつたが二日午前八時頃軍用路平和鐵工所に職工として勤務潜伏中を同署谷口刑事が發見逮捕した、目下嚴重取調べ中である

天翔ける軍國調

グライダー競技大會次第決る

航空第二陣の勇士五十餘名をすぐつて擧行する滿洲飛行協會主催第一回全滿グライダー競技大會は三日午後八時から新京南飛行場で開始される、氣づかはれた天候も中央觀象台の豫報によれば〃滿洲晴れ〃といふありがたいご託宣である、各支部の役員出場選手は既に二日午前中に來京正午からは飛行場で豫行をなすなど名譽を双肩に大した張り切りやうである、當日は一般多數來觀者の便宜を圖り新京驛前から間斷なく臨時バスを運轉することになつてゐる、なほ大會次第は左の如くである

▲入場式（午前八時）役員、會員入場（軍樂吹奏、花火打上）
國旗掲揚 君が代 滿洲國歌
開會の辭 皆川大會委員長
式辭 李大會顧問
訓辭 大橋大會會長
會員宣誓 伊木貞雄
▲競技開始 午前八時四十分
直線滑空（プライマリー機）
一組（關東州支部一五名 奉天支部一五名）
二組（哈爾濱支部一五名 新京支部一五名）
一名一回宛 六十回
▲晝食 正午
▲複座滑空（ソアラー飛行機）
ソアラー 關東州支部敎官 弘中正利
飛行機 新京支部敎官 阿部已則
▲旋回滑空（セコンダリー自動車直接曳行） 零時四十分
（關東州支部 哈爾濱支部 奉天支部 新京支部）
▲閉會式
整列
講評 今西審判委員長
優勝盃及賞品授與 大橋大會會長
參加賞授與 同
祝電披露
閉會の辭 内海大會委員
國旗降下 君が代 滿洲國歌

中央銀行の射撃訓練

中央銀行では非常時局に對處する行員の身心鍛錬のため過般南嶺で馬糧獻納を行つたが更に二日午前十時より寛城子射撃場に於て全行員の射撃大會を擧行してその意氣を昂揚した【寫眞は射撃場にて】

鄕軍分會對抗射撃大會

新京鄕軍聯合會主催各分會對抗競點射撃大會は三日午前八時半から陸軍射撃場で開催されるが各分會から粒選りの射手十名づつ參加する筈である

肉彈飛散る戰線の實況

北支から中繼

北支に事變勃發するや電々會社では逸早く多數の放送關係社員を派遣して現地民衆に對する宣撫放送や戰地からの中繼放送等に大童の活躍をしてゐることは周知の通りであるが電々では更に生々しい戰線現地のニユースを日滿の聽取者に送るため過般優秀な錄音機と共に多數の原盤を送つたので近く實彈飛び出す銃砲の唸りや、且に一壘、夕に一城を拔く皇軍の突撃、さては戰捷堂々入城の感激がそのまゝ手に取る様に中繼されるものと期待される

通關座談會

新京稅關と新京商工會議所の主催で來る五日午後三時から公會堂で貨物通關に關する座談會が催される

冬籠りに備へて

絶讃湧く淨月潭、土們嶺行

あすは絶好の行樂日和

健康禮讃の秋本社が贈進の催し淨月潭探勝會並に土們嶺芋掘りは絶讃の裡に愈よ明日左の通り擧行されるが氣づかはれる天氣も觀象台では絶好の滿洲晴れとの觀測で盛會が豫想されてゐる

▲淨月潭探勝會
一、集合 午前九時半國都建設局前
一、出發 午前十時
一、經路 國都建設局前—長春大街—大經路—京吉國道—伊通國道—淨月潭
一、催物 レコード演奏會、變裝美人探し、寶探し
一、歸發 午後三時
一、歸路 淨月潭—伊通國道—京吉國道—大經路—西公園—新京驛
一、歸着 午後四時
一、會費 大人一圓五十錢、小人七十五錢、但し辨當各自持參

▲土們嶺芋掘り
出發 午前十時半—新京驛
土們嶺着 正午、直ちに芋畠に至り芋を掘り紅葉の裏山ハイキング
土們嶺發 午後六時八分
新京着 七時半
會費 大人二圓二十錢、小人一圓五十錢
但し芋は各自自由に掘ること

役員は留任

飲食店組合定期總會

新京附屬地飲食店組合は定期總會を一日午後二時より祝町太子堂階上に於て開催十二年度決算報告及役員の改選を行ひ、選擧の結果會長、副會長、評議員、顧問とも從來通り留任と決定した

大新京料理店組合檢番上棟式

三笠町三丁目十番地に目下建築中の大新京料理店組合、大新京檢番兩事務所は二日午前十一時半より上棟式を擧行した

十三校二千の健兒

陸上爭霸競技

けふ西公園で繰上げ体育デー

三日の全滿體育デーを一日繰上げた第四區敎育會は二日を體育デーとして同會主催のもとに四平街以北新京以南四平街、公主嶺、范家屯、泉頭、新京市内各小學校十三校の參加によつて西公園グラウンドに體育大會を開催した、この日冷氣とみに加はりどんよりとした雨を孕む氣遣はれた空模様に午前十時より參加校五、六年男女生約二千の健兒參列して午前十時より開會式を擧行、國歌奉唱裡に各校主將によつて國旗掲揚、皇居遙拜の後同會幹事西廣場瀨川校長開式の辭を述べ同三十分開會式を終り續いて出場選手の合同體操あつて直ちに左の通り對抗爭霸の幕を切つて落したが競技開始とともに氣遣はれた天候も次第に恢復降らず照らずの運動日和に惠まれ各選手共可憐な應援團の聲援に送られて異狀な緊張さに競技を進めて行つた、競技種目及場所は

一、ハンドボール六年男西公園グラウンド
一、四百米リレー六年男同
一、バレーボール六年女室町八島校コート

榮あれ海上警備隊

盟邦日本海軍からの贈物

海威號・近く營口へ

遼東灣及西朝鮮灣一帶の海岸線警備の任に當る滿洲國海上警察隊に一段の陣容を加へる新警備船「海威」號は日本海軍の好意に依り改裝の上、三十日佐世保に於て盛大なる讓渡式を擧行、近く若木警察隊長等に依つて營口に曳航されることゝなつたが、于治安部大臣は二日午前十時半駐滿海軍部を訪問、日比野司令官と堅き握手を交し盟邦日本海軍の好意に對し深甚なる謝意を表し盃を擧げて海威號の前途を祝福した【寫眞は祝盃を上げる日比野司令官と于治安部大臣と海威號】

澤田參事官のルル氏招待宴

澤田大使館參事官は二日正午から官邸に於て一日來京し、白國パーティエムシエークル紙主幹ルールカン氏を主賓として歡迎午餐會を催した

總領事館執務時間變更

新京總領事館の執務時間は十月一日から三月三十一日迄午前九時から午後四時迄となつた土曜日は正午まで

刀劍鑑定師本阿彌師來る

先に來滿して好評を博せる本阿彌光美氏はその明鑑は快刀亂麻を斷ずるが如く而も親切叮嚀に良く後進を敎ふるに啻ならず玆に再び有志の招聘に依り來滿、二、三、四日の三日間に亘り新京記念公會堂に於て鑑定の需めに應ずる夜間は旅舍大和新館にて鑑定する

小谷主任赴連

滿鐵新京支社庶務課秘書係主任小谷壽氏は本社と事務打合せのため一日午後九時五十分の列車で赴連した五日頃歸任の豫定

長春寺お十夜

曙町淨土宗長春寺では四、五の兩日お十夜法要を營み本山特派布敎師の說敎がある

寺院と教會

▲メソヂスト教會一、日曜禮拜午前八時半一、聖書學校午前九時四十分一、朝の禮拜午前十時半一、說敎「人は神に見るや春に見るや」武藤富男一、夕拜午後七時半一、說敎「み靈による生活」小畑原上志郎
▲キリスト教會一、日曜學校午前九時一、聖日禮拜午前十時十五分一、說敎生江孝元師
▲日の出を拜す集ひ あす日曜日の日の出時刻は六時三十七分西公園誠忠碑前に市民早起會行事右終つて忠靈塔參拜

あす（十月三日）

▲全滿グライダー競技大會、午前八時—午後四時、南飛行場
▲淨月潭探勝會、午前十時大同廣場國都建設局前出發
▲土們嶺芋掘り、午前十時三十五分出發
▲フルマラソン、午後二時、忠靈塔前出發
▲國民精神總動員講演會、午後三時、西廣場滿鐵倶樂部
▲電氣週間第三日
▲第三次秋季競馬第八日（最終）

今晩の主なる演藝放送

▲八・〇〇吹奏樂と軍歌（東京）海軍々樂隊▲八・三〇ラヂオヴアラエテイ「超特急皇軍慰問團」徳川夢聲外大ぜい

淨月潭探勝會 變裝美人

早智子（銀パレス）　愛子（銀パレス）　志賀明美（扇芳會館）

ヒバリ（銀パレス）　春美（銀パレス）　近藤梅子（扇芳會館）

各社時代劇 早くも正月映畫

秋シーズンから年末までの準備を終へた各撮影所では早くも正月映畫の企畫を開始したが、松竹京都では此程左の如く正月映畫三大作を發表した▼林長二郎主演「信長出陣」▼高田浩吉主演「江戸育ち一心太助」▼坂東好太郎主演「幡随院長兵衛」なほ日活京都では既に千惠藏主演「木村長門守」阪妻主演「尼子十勇士・山中鹿之助」「オールスターキャスト「旗本五人男」を新興京都では山田五十鈴主演「淨御前」を更に東寶京都では大河內傳次郎主演「國定忠治」をそれぞれ正月映畫として準備してゐるので、時代劇四社の正月映畫の主なるものが決定したわけである

半島舞姫主演 日活で輸出映畫製作

日活多摩川では朝鮮總督府後援の下に輸出映畫『大金剛山の譜』（ゴールデン・マウンテン）を製作する事となつた同映畫には半島の舞姫として人氣者の崔承喜の出演が決定水ケ江龍一監督引率の一行數十名の朝鮮ロケーション隊を編成し、今月末朝鮮隨一の名山『金剛山』を背景に大掛りな撮影を敢行するプランだといふ、崔承喜の相手役には小杉勇が選ばれ目下配役その他の準備中であるが崔承喜の銀幕出演は二回目のことで第一回は昨年新興キネマで『半島の舞姫』に主演した、尚この『大金剛山の譜』は十月一杯で完成させ、十一月中旬歐洲市場へ向け輸出の方針だとあり崔承喜も同映畫出演後十一月歐洲へ舞踊研究の爲め旅立つことゝなつてゐる

さぼてん

銀パレスの由美子君近頃博愛衆に及ぼす方法を考へついたとよろこんで居る、曰く足の先で二人、膝頭で二人、手で二人、目で二人、口で五六人とはちやつかりしてるね、▲晴美君うれしそうにほうづきを喰べて居る、理由をきくと散々頬張つてそのあとでほうづきにこしらへならしたり彼氏に貸したりすれば間接の…でせうと目を大きくした、▲ヒバリ君十年前のカフエー風景のおかげでエプロンをかけたら可愛いくて云はれると大滿悦可愛と奇麗とは隣りあひですぞ

雜音

一日寫眞替り日曜孔子祭と重なつて各館ともにいゝ入りを見せた、漸く本調子に入つたといふ態である▼久方振りに色ものが揭る、ワカバ舞踊團と光明會一行を交へた漫才大會この方も時節柄鳴りをすつかり秘めた態であつたが季節に入つては色ものゝ登場も待望せられるものだ▼各社競映の「美しき鷹」の裡、日活、新興ものが近く封切を豫定されてゐる、東寶さんあたりのものも期待されるところが多い

白い天使（禁上演上映）

林房雄作　吉田眞里畫

（一〇九）

手紙（三）

『そんな心配なら、よけいだわ』

だれがあんなものをあてにしてゐるものですか？だけどほかの理由で——たとへば、田中さんの話の娘とでも結婚するつもりで、ひとりになるとでもいふのならそれならよくわかるわ。そんなつもりならあたしだつて、ひとりになります』

『弘子さん、おこつたの？——どうぞおこらないでね。これにはきつと事情があるのよ。

あたしにまかせて下さいな。これからすぐ東京にかへつて、秀夫さんにあつてくる。……ことまできてこんな故障みたいなものがおこるなんて運命の神様も、いぢがわるいわね』

といひかけて、ちよつと考へてから

『でもこれもかへつていゝかもしれないことよ。神様が若い二人の愛情の上に下した小さな試練なのかもしれない。ね、さうぢやなくつて？』

『あたし、神様なんて信じませんわ』

弘子は、そのまゝだまりこんでしまつた——障子ガラスにうつるとほい島影をじつとみつめたまゝ。

『こんな手紙氣にしないでね。あたし、すぐに、秀夫さんにあつてくるから……』

『……』

『まあ、考へこんではいけないことよ。ね、なにを考へてゐるの、あたしに、きかせてちやうだい』

『あたし、これからのくらしのことを考へてゐますの』

弘子は、顏もうごかさずにさう答へた。

一年がすぎた。

——春が、夏が、秋が、冬が、そしてまた春が……

秀夫にも、弘子にも、田中にも、史子にも、それぞれあたへうるかぎりの變化をあたへてすぎさつた。

この物語りの中の人物で、この一年間に、割合に變化のない生活をしたものといへば、それは篠田萬吉ひとりであつたらう。なぜなら彼は、あの自動車爭議以來ずつとT刑務所の獨房でくらしてゐたからだ。

もつとも、時間の經過を、季節の變化を、いちばん氣にかけながらくらしたのも、やはり篠田であつたにちがひない。

外にゐる人々にはほとんど知らぬまにすぎさつてしまつた一年と六ケ月も、かれには毎日のやうに指をりかぞえた六百日であつたらう。

刑務所の中にも花壇がある。春さへくれば、囚人たちをなぐさめ顔に、ゆりや、おだまき草や、カーネーションや、アネモネまでが芽をふき、花をひろげる。

囚人運動場のそばにつつてゐる裸の碧桐が、にぎりこぶしのやうな芽をだして、青い大きな手をひろげると、やがて初夏だ。

虹色の雲がうかんでゐる空の下を、晴れぐくと、初夏らしい風がわたつてゐるある日曜日。

それが、篠田の出獄日であつた。

午前十時。

久しぶりの背廣をきて帽子もかむり、ひげも青々ときれいにそつてもらつた篠田は、大きな風呂敷包みを一つぶらさげた姿で、にこにこ笑ひながら、刑務所の鐵のドアをぬけてでた。

獨房のとざされた空氣と、不充分な食物のせいで、かれの顏色にはさすがに青ざめてゐた。

しかし、いくらかやせて骨ばつた額の下で、かゞやいてゐる兩眼は、ねりあげられた心の深さを示して、かへつて光りをましてゐるやうであつた。

滿鮮の物資移動 事變の影響僅少
内地側對應に遺憾無きを期す

【東京國通】東京市産業局では今回の日支事變に伴つて生ずべき北支方面における日用物資の移動状況に關して海外各出張所に對し隨時照會を發してゐたがこの程滿洲國新京朝鮮雄基の兩所よりの報告によれば事變による影響は極めて僅少で、事變前と大差なく大津出張所よりは最も憂慮されてゐた砂糖不足も居留民の大手筋と小賣商に對する斡旋が効を奏して砂糖饑饉の心配も今は全く解消しその他各方面とも復興および振興の機運極めて活潑で通商は益々旺盛を告げてゐる旨の報告に接したこのため産業局では現地方面よりの各種物資に對する注文の如何に從つて即時對應の出來得るやう萬遺憾なき準備を講ずる筈である

錢莊と錢舗 甚しく衰退す
情勢變化で營業範圍縮小

大同二年十一月普通銀行法が公布され、その第一條に「名稱の如何に拘らず預金、貸出爲替業務をなすものは銀行と看做す」と規定され、從來爲替、預金、貸出業務を行つてゐた錢莊錢舗で同法に抵觸するもの多く實際の取締に當つてはそれ等諸錢莊の銀行改組が行はれ次第に營業範圍が縮小しつゝあつた、その矢先康德二年八月末以來國幣金票等價示現、次いで同年十二月十日滿洲國外國爲替管理實施に殘存錢莊錢舗の存在意義は益々薄弱化し一路減少を辿りつゝある、即ち康德二年十月二百四十六店であつた處、十一月に入り二百二店、十二月に入り百廿九店に激減、營業範圍限定されたまゝ推移したが昨康德三年十月以降鈔票發行禁止、錢鈔市場閉鎖等に當面し大連所在此種業者は昨年九月末を以て遂に全部特産、油房、雜貨等の他業に轉業の餘儀なきに立至つた、他の各地方においても爾後更に激滅の一路を辿り、本年四月末現在殘存店數は奉天十七店、哈爾濱十二店、合計廿九店となり全部天津大洋の少額賣買の外奉天所在錢莊に預金殘高約三十餘萬圓、貸出殘高約四十余萬圓、哈爾濱所在錢莊の預金殘高約四千余圓を殘すに過ぎない狀態である

滿洲の小麥
生産增加せず

最近十年間に於ける滿州小麥の收穫高を見ると昭和八年以來著しく減退してゐることが知られる、昭和七年までの五ケ年間の平均收穫高は百四十三萬キロトンであり、それは毎年左程の變動が無かつたがその後激減し、昭和八年以後五ケ年間の平均は八十九萬キロトン餘に過ぎず前者に比し實に三割七分の減退である、一方輸入小麥及び小麥粉を見ると前記收穫高の減少した昭和八年以後反對に甚しく增加してゐる、即ち昭和七年頃迄はその輸入超過高は年額二、三十萬キロトンに過ぎなかつた(小麥粉は小麥に換算)ものがその後一躍七十萬キロトン餘と二倍餘に增加してゐる有樣であつてこれは昭和八年に於ける世界的農産物價の下落により滿洲小麥もその影響を受け、海外の輸入小麥に壓倒されたことを物語るものと言へる、尤も右の輸入超過高は昭和十年以後再び漸減し、昭和十一年の如きは二十八萬キロトン餘に激減したがそれは昭和九年十一月滿洲國に於いて右小麥粉の輸入防遏小麥增産奬勵の目的を以て從來無税であつたものに對し麥粉百斤には一圓(一袋當り三十七錢)小麥百斤につき五十錢を課税することとなり、更に同十一年八月には貿易緊急統制法が實施されその輸入が阻まれたのに因つてゐる、ただこの輸入防遏にも拘らず未だ農民の小麥耕作が刺戟されるに至らず輸入減少に比例してその收穫高が左程增加しないのは注目を要する

日本品不買の如き 一顧の價値なし
―英國財界の對日態度冷靜―

【ロンドン卅日發國通】英國財界は政府當局の對日態度に不滿を抱き一般に冷靜なる態度を持してゐるが、英國産業聯盟の有力筋は日本品ボイコツト運動の如きは世界平和を危機に導く虞れありとして反對してをり、在支英國權益に對する損害に對しては重大關心を有するも新聞報道は誇大に過ぎ信用をおき難いとなしてゐる、一方英國商業會議所も愼重な靜觀主義を續け批評を差控へてゐるが、日本品ボイコツトの如きは全然考慮してゐない模樣である

半島水産躍進

【京城支局】總督府商工課調査―半島貿易の王座を占むる水産製品の十一年度中の輸移出總額は四億四千四百七十二萬九千八百八十六斤、五十七萬三千五百七十三打でこの金額は五千六百九萬三千五百三十二圓の巨額に達し、半島水産加工品は逐年增加の一路を辿り漁船及び加工々場の機械化と淺海利用による養殖事業の普及を現示してゐる

圖們魚菜市場
仲買人と和解

かねて圖們魚菜市場株式會社の魚菜市場では仲買人側から
一、現在の糶子を解職し新糶子を採用のこと
二、仲買人組合の承認を經ずして仲買人を增員することを得ず
三、市場自體が地方部を設けて營業するは仲買人を不利に陷れるものとしてこれを撤廢すること
以上三項の貫徹方要求を受け會社側は强硬にこれを拒絶したゝめ兩々對峙抗爭をつゞけ事實上市場休止の姿を呈し、仲買人は全部釜山、淸津方面と直接取引の擧に出で市民をして憂慮せしめてゐたがその後商工會議所その他の熱心な調停が效を奏し今回和解成り元通り圓滑に運轉することゝなつた、仲買人側も今までの問題には全然觸れず全く白紙に戻つて全部加入することゝなつたものである

朝鮮の鐵道輸送
平常に復舊す

【京城支局】朝鮮鐵道局では時局輸送のため八月一日から一般貨物の受託を制限其後再度に亘り一部制限の緩和を行つて來たが今回これが制限の一切を解除し十月一日から從前通りの取扱に復することゝなつた、然しこれ迄の影響を受け多少輸送力の不足は免れぬ狀態にあるが追ひ〳〵安定すると思はれる、この際留意し託送の際は驛關係者と充分打合せることが肝要である

最近に於ける 世界貿易情勢
―軍擴競爭が原動力―

近時世界經濟の回復は、物價の昂騰、生産の擴充を樞軸として益々顯著となつてゐる、そして從來の景氣回復が關税の引上、金本位の廢棄とこれに伴ふ自然通貨價値の引下、ブロツク經濟の强化等一聯の排他的政策に基礎を有したのに對して、最近のそれは列國に於ける澎湃たる軍備の擴張に基底をおいてゐることは注目されるところである

×　　×

すなはち國際政局の不安に基いて、昨年來世界的に展開して來つた軍備の擴充と、これに隨伴する生産設備の擴大とは從來自由貿易に立脚し來つた資本主義的世界經濟に對して各國が自給排他政策を强行した結果、必然的に生じた所產であるに拘はらず、これ自體より生れた需要消費の擡頭は却つて排他主義を或る程度まで打破して國際通商を促進するに至つたのである

×　　×

過去に於ける恐慌後の例に徴すると、由來世界貿易の回復は生産の上向に後れて初まるのを常則とするが、今次世界經濟の回復にあつても世界貿易は特殊の樣相たる軍需景況の昂進に基く生産擴大に追隨して著しい增進を示して居る

×　　×

世界各國の輸出入額は昨年上期より累增し來つてゐるが、この增勢は昨年末から今年に入つても引續き持續されて居る事は一部有力國の狀況を見ても容易に觀取し得られた所であるが、しかし恐慌前の高水準とは未だ相當の懸隔があり、亦必ずしも全般的に普通化して居るとは云ひ難い、即ち世界貿易の向上は先づ何よりも原料ブームに負ふ所が大であり、主として原料品貿易の數量增加が價格の昂騰によつて加大された結果に外ならない、從つて輸出の振興は農産鑛産原料生産國に最も著しく昨年度に於いてはカナダ、濠洲、南米、印度、瑞典、丁抹ブラジル、アルゼンチン南阿東印度、及び馬來等諸國の輸出增進が目覺ましいが、工業國としては僅かに獨、白兩國のみが一〇%以上の增大を示して居るに過ぎない、之に對し輸入は英、米兩國を主流として列國とも殆んど軒並に增大、カナダ、濠洲、南米、瑞典、ブラジル、ソ聯等何れも著しい膨脹を示してゐるが、昨年末まで不況を脱し得なかつたフランスも亦主として物價の昂騰によつて輸入を增加して居り各國とも所謂準戰時體制の樣相を現出して居るのが如實に窺知される、更にこれを歐洲諸國及び歐洲外諸國に大別して見るに、歐洲外諸國に於ける貿易の增勢は歐洲諸國のそれを遙かに上廻り著しい躍進を遂げて居るが、之は伊太利に對する經濟制裁の影響、スペイン内亂の勃發、その他多くの經濟的、政治的な貿易障碍に加へ、金ブロツク三國を初めとして本位貨の價値低落が齎らされた結果であり、これに對し歐洲外諸國は軍擴景氣の上昇と原料品貿易の好勢により惠まるゝこと著しく、主要國は殆んど凡てこれら增大に參加して居るのが窺はれるが明年並に本年第一回半期に於ける我國貿易の增高も世界的の物價昂騰によるとはいへ亦歐洲外諸國として且つ原料輸出國としてのかゝる增勢の一端を擔ふものに外ならない

×　　×

ともあれ列國に於ける軍擴競爭が今次世界景氣促進の新しき原動力となりつゝある事は貿易部門が物價の昂騰と原料品就中工業原料の輸入增加を中心として益々伸張の傾向にあるを示唆するものであり、これとともに最近國際經濟會議による通商障碍打破の氣運が僅か乍らもその曙光を現はすに至つたことは世界貿易の新しき態樣の變化として注目せらるべきである

阜新の工場に 八家子から工場用水
合成燃料が巨費を投じ

滿洲合成燃料會社は今回工費三百萬圓、工事期間二ケ年をもつて大貯水池及導水裝置を構築することゝなり、目下三井鑛山技師十六名が調査中である、該貯水池は年産十萬噸人造石油生産に要する一晝夜約五萬餘噸にのぼる工場用水を供給するため、阜新西北約二十五キロの八家子に百五十萬坪の大貯水池を構築し、地下導水裝置をもつて阜新の工場所在地に運ばんとするもので、大體本年十一月中に調査を終り、明年の解氷期をまつて工事に着手、二ケ年をもつて完了する豫定である

なほ會社の年産能力の增大にともなひ所要水量の供給不足を告げる場合は更に流川流域羊圈子より同河の餘水を右の導水裝置に合流せしめる方針を決定してゐる

主要銀行會社 收益增加著し

【東京國通】興銀調査による本年上期主要銀行、會社(一四七三社)の事業成績は政府の生産力擴充政策に呼應し著しく活況を呈したゝめ一部事業を除いては收益力急激に增加し近年にない好成績を擧げた、すなはち一四七三社中利益を擧げたもの一三七九社にして利益金總額は六億六千九百卅六萬圓、缺損を計上せるもの五十八社、損失二百六十六萬圓に過ぎず、差引六億六千六百七十萬圓の利益を擧げるに至つた、拂込資本總額百二億八千二百六十二萬圓に對する利益率は實に一割二分の高率に躍進、産業利潤より見る限りわが産業界は依然好調を辿つてゐる事業界の好調に未拂込徵收並びに增資も旺盛を極め拂込資本の增額は六億二千八百萬圓におよんだに拘らず如上の一割二分といふ最近比類なき高率を擧げたことは注目に値する

復縣でも 農事合作社成立

【瓦房店支局】滿洲國建設と共に國民の囑望せる王道樂土の惠みとしてその大眼目とも稱すべき于夫の慈雨たる農業合作社の現出は二千八百萬農民の福音として邂村山谷に至るまで普く吾が復縣においても協和會の斡旋により二十七日復縣農事合作社結成式を見るに至つた、本會の內容を見るに從來疲弊し來つた農民に對し百般の世話を爲すと言ふのである、その成否は當局者の努力と手腕にまつべきもの最も多しと期待されて居る、因に右結成式は近來稀な盛大さでその成功や推して知るべきであると

商況欄
海外經濟電報 九月三日前場

- 倫敦金塊　七磅〇志七片二分一
- 紐育金塊　三五弗〇〇
- 倫敦銀塊　一九片一六分三
- 同先限　一九片一六分二
- 孟買銀塊　休會
- スチール株　八一弗二分一
- アナコンダ株　三九弗八分三

▲市俄古小麥
- 十二月限　一弗〇七仙八分五
- 五月限　一弗〇八仙八分三
- 七月限　一弗〇二仙二分一

▲紐育棉花
- 現物　八仙五五
- 十月限　八仙四〇
- 十二月限　八仙二八
- 一月限　八仙二八
- 三月限　八仙二六
- 五月限　八仙三五
- 七月限　八仙三八

▲印棉
- ブローチ　一六八留比
- オームラ　一四八留比
- ベンゴール　一二九留比

▲カルカツタ麻袋
- 青筋　二三留比六分三
- 鐵筋　二一留比六分二

▲外國爲替
- 英米爲替　四弗九五仙一六分七
- 米日爲替　二八弗九〇仙
- 英支爲替　二九弗八〇仙
- 英日爲替　一志二片〇〇
- 印日爲替　一志二片八分五
- (印日)　七七留比二分一

各地株式市況

▲東京株式(短期)

銘柄	寄付	大引
新東	一四三・七〇	一四四・九〇
日産	六七・四〇	六七・六〇
鐘紡	二三〇・〇〇	二三一・一〇
滿鐵	五三・四〇	五三・五〇
大新	八〇・三〇	八二・一〇

▲大阪株式(短期)

銘柄	寄付	大引
新東	八〇・一〇	八〇・七〇
大新	一四三・五〇	一四三・五〇
新東	三二・六〇	三二・一〇
日産	六七・一〇	六七・四〇
鐘紡	六〇・七〇	六〇・六〇
日書	[illegible]	[illegible]

▲大連株式(短期)

銘柄	寄付	大引
五品	一五・二〇	一五・三〇
豆新	一八・六〇	一八・七〇
東新	一四三・五〇	一四四・五〇
日産	六七・五〇	六六・六〇
滿鐵	五四・四〇	五四・四〇
同新	―	―
鐘新	三三・〇〇	三三・一〇
土木	一三・八〇	一三・八〇
日新	二〇・八〇	二〇・六〇

各地商品市況

▲大阪綿糸　寄付　大引

▲大阪棉花

限月	寄付	大引
十月限	三三五〇	三三五〇
十一月限	三三一九〇	三三一八〇
十二月限	三三〇九〇	三三〇七〇
一月限	三二九六〇	三二九六〇
二月限	三二八七〇	三二八八〇
三月限	三二八九〇	三二八八〇
四月限	三二八一〇	三二七七〇

▲大阪人絹

限月	寄付	大引
當限	六七八〇	六八〇〇
先限	六〇七〇	六〇六〇

▲大阪期米

限月	寄付	大引
當限	七一四〇	七一三〇
中限	三一三九	三一一六
先限	三一〇三	三一〇七

▲横濱生糸

限月	寄付	大引
現物	二〇〇	二〇九四
當限	七六九	―
先限	七四四	七六七

各地特産市況

▲新京(一石値段)

品名	寄	引	出來高
現物 大豆	―	―	―
高粱	―	―	―
米高粱	―	―	―
小豆	―	―	一車
玉蜀黍	四六、四	―	―
●先物 大豆 十月限	六、一三	六、五〇	三九六車
十一月限	五、七七	―	一車

▲大連

品名	寄付	大引
●高粱 十月限	―	―
十一月限	―	―
豆 袋入 十月限	七、一八	七、二二
十一月限	六、八六	六、八八
十二月限	六、七二	六、六八
一月限	六、六〇	六、五三
三月限	―	―
●豆粕	―	―
現物	三、八〇	三、八〇
十月限	三、五〇	三、六〇
十一月限	三、九〇	三、五〇
十二月限	三、一〇	三、一〇
一月限	三、一〇	三、一〇
●豆油 現物	一九、九〇	一九、九〇
十月限	―	―
十一月限	―	―
十二月限	一九、五〇	一九、五〇
一月限	一九、五〇	一九、五〇
二月限	一九、五〇	一九、四五

舊八月二十九日　日曜　癸亥　赤口　滿　昴宿
十月三日

- 一白の人　氣運は平らかにして從來の停滯も開通せん辰と壬と癸が吉
- 二黑の人　最上の氣運にて潮に乘りて船の進むが如し乙と丙と丁が吉
- 三碧の人　焦慮すれば却つて失敗を重ぬ沈着に事を謀れ申と辛と癸が吉
- 四綠の人　邪氣身に迫る一切を捨てゝ定業を堅く守れ辛と壬と丑が吉
- 五黄の人　勞苦を厭はざれば思ひの外に成績を擧げ得乙と丁と戌が吉
- 六白の人　多少の曲折あれど終始一貫して初志に進め丁と戌と丑が吉
- 七赤の人　多事多難に氣を折らず耐忍して好機を待で戌と乾と亥が吉
- 八白の人　手の觸るゝ所足の向ふ所意の如く行はる日丙と丁と亥が吉
- 九紫の人　足元定らず顚倒し易き日爭論口舌を避けよ甲と乙と丙が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

德州城壁千米に肉薄 包圍攻擊隊形を展開

敵陣地、早くも浮き足立つ

【天津二日發國通】津浦線上を決河の勢ひで南進、山東省內桑園鎭を拔いて一日夕刻德州を去る一キロの地點に迫つたわが先鋒部隊は、同夜德州縣城に向つて攻擊を續け、二日朝以來德州上空に勇姿を現はしたわが空軍の爆擊と相呼應して猛攻擊を展開しつゝある、敵は前線陣地及び城壁より砲火をあびせ頑强に抵抗しつゝあるがわが軍は次第に城壁に迫りつゝある

【泊頭鎭二日發國通】一日德州北方三キロに迫つたわが桑田部隊は同夜來前線陣地に據る敵の猛射をくぐつて進擊また進擊二日未明遂に城廓を去る千米に肉薄高さ十米の縣城壁目掛けて猛攻擊を加へつゝあり、空陸相呼應するわが猛擊の前に德州落城は目睫にあり

【天津二日發國通】二日朝來德州城の前方一キロの線に向つて攻擊中のわが部隊に後續部隊と協力、敵の猛烈なる砲火の中を次第に縣城包圍の攻擊隊勢を展開しつゝあり、德州の敵はなほ頑强に抵抗しつゝあるが、今や潰滅の運命に迫り早くも浮足が立つてゐる

皇軍の南下急追に狼狽

上海戰線支那軍一部北上か

【天津二日發國通】當地に達したる情報によれば上海、南京方面支那人間では保定、滄州陷落に狼狽し次に來るものは濟南攻擊であるとなして南京政府は津浦線方面保持のため上海前線の一部兵力を津浦線方面に振り向ける必要に迫られてゐると傳へられ、上海戰線における皇軍の壓倒的優勢と相俟つて自國の敗戰を自認する極めて悲觀的觀察が濃厚となつてゐる、また事變當初より上海戰線の抗日戰に前後の區別なく參加した學生軍は戰局進展とゝもに行方不明の者續出し、支那軍の少壯將校連はこれを目して戰爭を忌避逃走したるものとなしてそれ等學生等の家族に對して猛烈な脅迫を加へてゐるため民心恟々動搖甚しく、殊に上、中流階級から怨嗟の聲があがつてゐる

滿洲國軍の勇姿

追擊又追擊〇〇方面へ前進する滿洲國興安南軍山砲排（大同にて）

寶興を占領す

【上海二日發國通】宮崎、高橋兩部隊は近藤〇隊と呼應し前後三回にわたる突擊の後午前十一時半寶興印度人協會および鐵道線路踏切りを完全に占據した

德州縣城は 敵の最大抵抗線

【天津二日發國通】二日朝來攻略戰を展開した山東省境北關門德州縣城は馬廠滄州にまさる津浦線上の要地として滄州喪失後の敵にとつて最大の抵抗線である、人口約六萬、城廓は西北が梢々への字に突出し不規則な正方形をなし高さ一〇米、幅八米の頑强なる城壁に圍繞せられ西に津浦線を挾んで南は運河があり同運河河岸および城外營羅莊、辛莊等四圍の全面には二ヶ年前より水濠トーチカ、塹壕を張り廻らした要害陣地である、同城の敵は龐炳　一ヶ師、馮治安二十九軍の主力李必蕃の中央軍二十三師等約六萬で繆徵流の二ケ師は德州西南の武城に退いたと傳へられてゐる

支那軍の配備狀況

【東京國通】信ずべき筋への情報によれば上海前線の支那軍配備狀況左の如し

一、常熟、太倉一帶に陳誠部隊を主力とする三萬
一、崑山、蘇州の線に廣西軍十萬
一、嘉興方面には湖南軍約五ヶ師（劉建緒指揮）
一、滬杭甬線には張發奎部隊三萬
一、太湖の東部一帶に廣西軍および湖南軍を主とする一萬二千
一、劉河、劉家行、江灣の線に約十四萬
一、閘北一帶に湖宗南部隊を主力とする約六萬

合計約四十萬乃至五十萬に達してゐる、而して支那側の觀測によれば斯く大軍を上海前線に配備してゐるのは中央軍の損害を僅少にするため中央軍は前線を退却して雜軍と交代するためであると見られてをり、また支那民衆の間には支那軍は十月十日双十節を期し總退却するだらうと流布されてゐる

皇軍の入城を感謝

日支提携を熱心討議

保定市有力者座談會

【保定二日發國通】廿九日保定城外西大園村では日本軍の入城歡迎のため名物の高脚踊を催し、わが將士を慰勞したが、卅日市內各界有力者は記者團の招聘に應じ「吾々河北省民は何を望んでゐるか」に關する座談會を開き日支提携に關し熱心に語り合つた

出席者白子卿（萬興恒商店支配人）賈宗棗（紅卍字會員）吳子衡（德利成商會支配人）中高汀（有力者）鄭芳存（電燃公司支配人代理）何景淋（西關聯合會公署）景梅川（西區聯合會公署）黃輔卿（西大園村村長）

記者　本日は和かな氣持で語り合つていたゞきます、中央軍および河北省の將來につき伺ひたい

白氏　態々御理解あるお言葉をいたゞいて嬉しく思ひます、南京政府の秕政については語り盡せない程多く官民は何れも日本軍の入城を衷心より待望してゐた次第です、この度も中央軍が到着して以來激しい現地徵發をやつたゝめ商店等で破產するもの續出し、饑餓に瀕し路頭に迷ふものが少くありませんでした、殊に撤退の際は手に持てるだけは皆持つて行つてしまつたので今後はどうしてよいか見當もつかぬ次第です、日本軍の御力をもちまして何とか御庇護のほどを御願ひ致します

記者　日本軍は誤れる南京政府を反省させるために戰つてゐるので支那の民衆を敵としてゐるのではない、その點御安心下さい

鄭氏　只今電燈線が切れて非常に不便ですが二、三日中に技師を伴れて來て修繕をさせたいと思ひます、又私の希望としては各所の婦女子なども避難してゐますが歸つて來ても言葉が判らないので非常に不自由して居ます、この點何卒御配慮を願ひたい、例へば證明書のやうなものでも頂ければ結構だと思ひます、城內に入るために非常に不便を感じて居ります

記者　排日教育に對する意見を承りたい

吳氏　軍隊だとか役所の强制でやむを得ずやりましたがこれは決して私達の本心ではありません

賈氏　中央軍は滅茶々々に税を取立てそれで排日教育をやつたのでどうしようもなかつた、今度日本軍の入城は中央軍とはまるで變つた態度で何とも感謝のほかはない

記者　この附近の塹壕はどうして造つたのか

白氏　塹壕を掘つた際はこの附近から二千人の苦人をつれて來てやつたので城內の人達は僅かしかなかつた

記者　何處へ行つた

白氏　中央軍は退却の際「日本軍が來たらお前達は皆殺しにされてしまふから」といつたので皆逃げたのです

記者　あとの政治はどうすればよいと思ふか

景氏　保定は天津や北平と違つて小都會であるから速かに縣廳と公安局をつくつて縣の治安維持を掌つて貰ひたい、さうして排日教育を全滅する爲に教科書をすつかりかへて貰ひたい

中氏　先づ城內の治安を確立して部落へ逃げて行つた人々や商人が安心して城內へ歸れるやうに講じてもらひたいと思ひます

上海戰線俄然激戰展開

閘北の敵を壓迫

陸戰隊淞滬鐵路に迫る

【上海二日發國通】わが陸戰隊の閘北攻擊第四日目の二日は前日にも增して激烈な戰鬪が全線に亘つて展開され戰局も急激に進展して敵を鐵道線路に追ひつめ今一息で所定確保地點たる鐵道線路の線まで進出せんとしてをりわが軍の士氣いよいよ軒昂敵陣占據の快報は次々に齎されてゐる

【上海二日發國通】敵は崇德女學校三義里上海印刷所を連絡する線を第一線として附近民家に堅固な土嚢陣地およびトーチカ用のコンクリート陣地を築き衆を恃んでわが陸戰隊に死物狂ひの抵抗を續けてゐるがわが方の確實なる砲擊效を奏して今や淞滬鐵路との距離百メートル餘りとなつてゐる

猛射浴び三義里の敵退却

【上海二日發國通】左翼の堅陣啓秀女子中學校を奪取されたる敵は崇德女學校を左翼に三義里を中央に上海印刷局を右翼として窮鼠猫を嚙むの勢ひで頑强に抵抗しつゝあるが、わが陸戰隊の包圍攻擊に堪へかね歩一歩と後退してゐる

【上海二日發國通】宮崎部隊、今井部隊、近藤〇隊より包圍攻擊を受けた三義里の敵は一部をもつて抵抗を試み退却しつゝあり大部分は鐵路を越えて閘北方面に後退し始めた

北四川路の敵も總崩れ

【上海二日發國通】田尻部隊は脇坂隊と協力今早朝啓秀女子中學東方の建物を占領、今井部隊は趙岐峰、公義學堂を堅持して右翼より三義里の敵を壓し佐野部隊の一部及び土師部隊は、廣東街より上海印刷局の敵を包圍してゐる

【上海二日發國通】北四川路の前面に蟠居し二ケ月餘に亘つて抵抗を續けてゐた敵は二日午後四時全般に亘つて閘北方面に後退を開始した

海の荒鷲、虱潰しの猛爆擊

【上海二日發國通】海軍〇〇精銳機は一日正午頃敵の第一線根據地大場鎭を空襲、大爆擊を敢行同地は全くの廢墟と化した

【上海二日發國通】一日午後五時頃松永兵曹長の率ゐる海軍航空隊は薄暮を突いて嘉定を空襲、爆彈の雨を降らし徹底的に打擊を與へ、ついで嘉定西方の外崗鎭鎭臺を襲擊一彈は同所にあつた敵彈藥庫に命中大音響とゝもに爆發硝煙天に沖し今なほ炎燒中である

【上海二日發國通】海軍航空隊は二日早朝から陸軍戰鬪に協力して劉家行、羅店鎭方面の敵前線陣地を虱つぶしに空爆、劉家行方面のわが軍前方四、五百米の敵迫擊砲陣地に正確なる命中彈を送り、陸軍前線將士を拍手歡呼せしめてゐる

上海街道を突破し 一擧吳家橋を占據す

【上海二日發國通】朱家宅、尹家宅の線に進出した新銳下枝部隊は息つくひまもなく一日早朝から荻涇クリーク對岸郭巷橋、蘇家宅方面の敵に猛擊を開始、同部隊、西島部隊は幅十二米のクリークを敵前渡河して同日午前十時早くも郭巷橋を占據、敵は算を亂して上海街道方面に遁走した、この虛に乘じて下枝部隊の左翼笠部隊も西島部隊と並行、張家角方面クリークを渡河して敗走する敵を追つて一擧に上海街道を突破し、午後三時半にはつひに周家老宅、吳家橋を占據したが、その前進距離は一躍二千米といふ駿足ぶり殆ど砲兵の掩護射擊をまたず遮二無二突進する勇敢さだ、笠部隊の進擊が如何に早かつたかは同日午後上空を偵察せるわが陸軍機が〇〇部隊本部に投下した通信筒にも「友軍か敵軍か判明せず」と疑つて報告した程で、この戰鬪において敵の遺棄死體は百五十、かくて劉家行を據點とする敵軍はその西北方背後を脅威さるるに至つた、今や下枝部隊は意氣ますますあがつてゐる

陳家宅を占領

【上海二日發國通】一日荻涇クリーク及び上海街道を突破し一擧二キロの快速進擊をなした下枝部隊は、二日さらに早朝から敗走する敵に急追擊を行ひ脇坂部隊の一部と協力して正午陳家宅及び邵家宅を占領、一方新銳の伊佐部隊も劉家行西方一キロの沈家宅にまで進出した

顧家宅占據

【楊行鎭二日發國通至急報】上海街道の要害劉家行を控かれた敵は最後の陣地と恃む顧家宅に背水の陣を張りわが石井部隊の猛擊に對し一日夕來頑强に抵抗、激戰が續けられたが遂に二日朝七時卅分わが軍は顧家宅の要害を占據した

爆擊問題に關し

米國政府靜觀

對日申入を繰返さず

【ワシントン一日發國通】日本軍の支那各都市爆擊問題に關する日本の回答に對し米國政府の今後の方針は未だ明確に決定してゐないといはれてゐるが、ユー・ピー通信社の觀測によれば、ハル國務長官はこれ以上對日申入れを繰返す意向はなく、また申入れ以外に何等かの處置は考慮してゐない模樣である、尙米國國務省の目下の意向は結局輿論關係を決定するのは日米兩國でなければならぬといふにあり當分靜觀するものとみらる

【上海二日發國通】二日朝占據した顧家宅は劉家行以上の堅陣で八の字形に突出した街路上の陣地はクリークと共に吳淞、劉家行を扼して突角陣地を形成敵の重要なる據點であつた、この陣地の陷落は大場、羅店の連絡を遮斷するもので敵にとつては作戰上致命的な打擊を受けたわけである

死をとげた、同部隊最初の犠牲者である

【上海二日發國通】重藤部隊高橋部隊の千田西男大尉は二日拂曉羅店鎭西方二キロの小濱に據る敵陣攻擊中頭部に敵彈をうけ名譽の戰死をとげた

上海印刷所占領

【上海二日發國通】二日午後二時蘇司克而路敵右翼の堅壘上海印刷所を包圍攻擊中の陸戰隊土師部隊は突擊肉彈戰をもつてこれを確保した

崇德女學校占據

【上海二日發國通】二日午前十時半脇坂部隊は白保羅路の崇德女學校を占據した

パブリック・スクールを占據

【上海二日發國通】二日午後三時半陸戰隊近藤〇隊は赫司克而路のパブリック・スクールを占據した

海軍機空襲狀況

【上海二日發國通】艦隊報道部二日午前九時發表＝わが海軍航空隊は昨日陸軍戰鬪機に協力して嘉定、劉家行、大場鎭、江灣方面の敵陣地を爆擊せる外左の空襲を行つた

一、江陰方面、德勝型軍艦を擊沈、永綏型軍艦を大破擱坐せしむ
一、浙鐵道の廣信の機關庫を爆破せり
一、廣東方面、天河飛行場を爆破黃埔にて砲艦一隻擊沈巡洋艦一隻を大破せしむ
一、阜停車場及び倉庫を大破す
一、南翔飛行場を爆破せり

劉家行爆擊で 室井機墜落

【上海二日發國通】二日午前十分頃わが海軍航空隊の劉家行方面空爆に參加した野原達夫三等航空兵曹（熊本縣出身）室井三五郎一等航空兵（福岡縣出身）の搭乘機は劉家行西方敵陣において急降下中敵彈を受け兩勇士は悲壯な戰死を遂げた

脇坂兵曹長負傷

【上海二日發國通】二日午前十一時半寶興路の印度人商會に據る敵陣に突入、三尺餘の大刀を揮つて同商會に一番乘りした宮崎部隊の脇坂兵曹長は、敵陣に到達した瞬間、敵の手榴彈を下腹部にうけて負傷した、同兵曹長は地聲が大きいので聲の小隊長として勇名をとゞろかせた人、富山縣の出身である

上海戰線戰死者

【上海二日發國通】淺間部隊の根本米次郎中尉および二井重雄少尉は二日早曉の李家宅の敵陣突擊の際に敵彈を受けて戰死した

【上海二日發國通】伊佐部隊の林武範軍曹は二日沈家宅方面の戰鬪において壯烈なる戰

全滿記者聯盟代表軍司令部訪問

【天津二日發國通】全滿記者聯盟慰問使第二陣代表細野奉天日日社長、窪田撫順新報社長、寒河江弘報協會理事の三氏は廿七日午前七時着列車で來津、同十時軍司令部及び各機關を歷訪挨拶を述べたが三日午前寺內大將を訪問する筈

張燕卿氏東上

【下關國通】前滿洲國外交部大臣張燕卿氏は夫人同伴二日朝七時十五分下關入港の興安丸で來朝山陽ホテルに少憩後九時十五分發列車で東上したが同氏は着京後天機奉伺の上約半ヶ月間に亘り東京、大阪神戶の各地を觀光の上十月中旬神戶港より歸國の豫定

星野長官開原へ

奉天に一泊した星野總務長官は二日午前八時五分發列車で開原に向つた

本多農林課長

龍爪緬羊牧場開所式參列旁々移民地視察のため北滿方面に出張中の拓務省農林課長本多保太郎氏は二日午後來京三日王府往復四日奉天へ向け離京の豫定

林滿映理事歸京

東上中の滿洲映畫協會常務理事林顯藏氏は三日あじあで歸京の豫定

大同學院生歸京

去月二十日出發北滿旅行中であつた大同學院第一部生滿洲里班學生廿五名は班長橫山副學監に引率されて滿洲里、ハイラル、三河、ハロンアルシャン、王爺廟等の各地をつぶさに視察二日午後八時着列車で一同無事歸京した

人事往來

▲石光憲武氏（會社員）二日東京ヤマトホテル
▲森本彌次郎氏（會社員）同
▲中司清氏（會社員）同
▲牛島隆一氏（鐘紡員）同
▲石井清氏（會社員）同
▲堀啓三郎氏（會社員）同
▲守岸通泰氏（會社員）同
▲藤田定之氏（藤田組）同國都ホテル
▲臼井次郎氏（同）同
▲佐藤彥次氏（中銀）同

第一線に出動せる將兵の勇武と銃後國民の微動だもせぬ精神總動員によつてこそ戰の眞の目的が達成されるのである▼若し銃後國民精神に弛緩あらばあたら勇將をむざむざ喪ふばかりであらう▼玆に於て政府は曩に諭告を發して銃後國民の向ふところを指示した▼然らば國民精神總動員とは何か、それを一般に平易に呑み込ませるため滿鐵新京支社地方課が主催して▼三日午後三時から西廣場倶樂部に於て斯界の權威▼矢吹慶輝博士、生江孝之教授を聘して講演會を開くことになつた▼今や擧國總動員の秋全市民よ來りてその據ふべき指針を聽け▼秋雨渡りて巷に早くも冬の聲を聞く▼永き冬眠に備へるため今のうちに郊外に出でゝ充分に日光の惠を受け入れること忘れてはならぬ▼三日は淨月潭探勝會、土們嶺の諸掘り、南飛行場のグライダー大會に一家總動員で繰り出せ

社說

事變深刻化と南京政權

一

支那事變は上海戰線を中心に北支、南支の全面に亘つて展開してゐる。その戰局は悉く支那に不利に動き、加ふるに我が海軍の全支に亘る海岸封鎖は海港の機能を停止せしめてゐる。日本の擧國一致體形は益々鞏固さを加へ、二十億にのぼる戰事費は國民の熱狂的支持のもとに議會を通過し、支那側のいはゆる長期戰に對しむしろ日本こそ長期戰になつても徹底的打擊を南京政府に與へねばならぬとの覺悟を强めてゐる。これに對して南京政府の用意はどうであるか。その前途をわれらはいかに見るべきか。

二

南京政府としては、上海戰線に全勢力を集中し、强力な直系軍を配置した。はじめそれによつて日本の陸戰隊を攻擊し、日本陸軍の敵前上陸を封じ、南京政府の心臟たる上海をかため、もつて長期戰により支那の勝利といふ都合のいいことを考へてゐたのであらう。しかし事實は期待に外れて日本の軍力は上海のクリーク網と敵の執拗な攻擊にも拘らず、大いに押し出してゐる。支那は一方では國際干涉を誘發することにより局面を有利に展開し、外交交涉に於いて日本を不利に導かうとする常套手段を講じ續けた。上海租界の爆擊、外國商船に對する爆擊等がかかる陰謀の結果として發生した。また南京政府は種々の戰時立法を制定公布し、政府を實際的には國防政府化し、戰火の擴大による敗戰主義者や自重論の昂揚を防ぎ、財政、物資の窮乏に備へるため種々の强行手段を施し一路主戰熱に統一强化してゐる。その空軍をはじめとして莫大な損傷を蒙つてゐるのであるが。鳴り物入りの宣傳等でまだ動搖を見るには至つてゐない。しかし財政上の窮乏は漸く明白であり、列國の對支援助見送り氣勢で借款運動は意のまゝにならず、國民に强制して公債を賣捌く、また各種民間物資を徵發して軍費政費に充當しつゝあるといふ狀態である。南京の窮迫化、苦悶はつひに蔽ひ難い。

三

ただ目下のところでは、南京政權がもはや弱つてしまつたと斷ずべきではない。現在程度の現象は、日支交戰の場合支那側でも想定してゐた程度の出來事である。問題はこれが何處まで維持出來るかである。日本流に考へる敗戰は支那では未だ徹底的な敗北を意味せず、困窮に慣れた彼等としては大なる苦痛ではないとして南京政權をして最後的な地步にまで追ひつめるにはあくまで南京政權の弱點をつき、上海と南京との連絡を絕たねばならぬ。さうなつてはじめて今の前徵的な危機現象が南京政權の致命傷として現出するであらう。わが軍事行動の意義はその時に成就する。

石家莊附近の地理的懷古

大宮權平

烈々たる皇軍の膺懲銳鋒に對しては難攻不落の堅城も支ふる能はず紐樞の要地たる保定を敗退したる支那軍何處に集結するや揣摩する能はざるも地理上より觀察せば平漢、正太鐵路の分岐點たる石家莊の據點は最緊要ならんかと思惟せらる、玆に此地を中心として附近の事蹟を追憶せば山西五臺山々彙より大行山系の深谷衆水の合流する滹沱河は北方里許を東流す其北に現在正定と稱する大城あり、春秋時代中山國東垣、漢に常山郡、隋に恒山郡、唐に常山郡鎭州五代に正定府、後唐に北都眞定府、北宋に成德軍、遂に中京、元に正定路、明淸に正定府と稱し河北有數の重鎭なり此地又佛敎興隆し隋に龍藏寺後改めて隆興寺七十三尺の大佛輪煥崇嚴の高塔あり、唐に開元寺、天寧寺、崇因寺等の大伽藍の建設あり、日本比叡山の圓仁慈覺大師唐開成五年四月廿一日（距今千百年）五臺山參詣の途上通過せしこと其日記に明證あり、尙傳說によれば元代我日蓮の六高弟の日持天寧寺に駐錫中神宗の招聘に應じ住僧光覺と共に晉京したりといふ、正定の北に縣城あり春秋時代中山國都とし靖王陵は今尙存在す後燕慕容垂此に都す、宋の開元寺高塔十三級現存す、其頃定窰と稱し今尙古玩者間に愛寵せらるゝ名器は此處の窰なりしも爾來廢絕せり、完縣の東方に現稱安國縣通稱祁州と呼ぶ、古來より漢藥の一大市場あり長江以北は勿論四川雲貴の藥材總滙し春秋二回全國の藥商蝟集し大取引りをなし市況活氣橫溢す裝飾美觀の邳彤廟と題する藥王廟あり、石家莊西方正太鐵路沿線に韓信背水の陣地あり大行第五陘井陘關東方に北流して滹沱河に注ぐ泜水あり即ち西より渡河して陣したる有名古戰場なり、現在此の西北方に一大炭鑛あり井陘炭として北支に著名なり、石家莊の南方にも臨城炭鑛あり共に廣袤數里に亘り盛に稼業中なり、臨城の南に廿四孝の一なる郭巨が老母を養はんが爲に愛子を生埋せんとし金甖を掘り當たる孝心通天の靈蹟地あり今は內邱縣內に屬す石家莊東方に欒城縣あり唐天寶の末年安祿山叛逆の際常山の大守顏杲卿が祿山より贈られたる金紫袍を衆に示し之を嘲りたる地點は縣城の西南にて今尙示衣坂と稱し有名なり臨濟宗の開祖義玄慧照大師の衣鉢を蛀藏しあるも本縣內なり、滹沱河は春秋增水季には欒城以下天津迄帆船の便あり流に沿うて下れば深澤、安平饒陽の諸縣を經て獻縣に達し南來の滏陽河と臧家橋にて合流す以下子牙河と改稱せらる饒陽縣北の河畔に後漢光武帝が逋職窘迫飢餓に陥りし際馮異が豆粥を進め士氣恢復したりといふ蕪蔞亭の遺址は今尙地方民の誇りとして現存す、從來此の亭は河北に在りとか河南に存すとか考證家の論爭に上り遂には文獻上誤字或は轉寫の謬ならんとまで疑問せし地點なれども何んぞ知らん滹沱河の奔流洪水每に河道の變移することに顧慮せざりしに因る、現在は河南に位置する將來にても平野を橫流する河道に就て考證家は一顧すべき要あり、此地方一帶今正さに河北中部皇軍南進の麾下にあらん（一二の九の二九）

空軍戰史を飾る

空軍根據地の敵前を推進

○○軍空爆隊敢行

【山陰二日發國通】南口、八達嶺の空襲或は太原支那軍根據地爆擊等の數限りなき殊勳を樹てた○○軍空爆擊隊は雁門嶺の攻擊においても地上部隊と協力爆擊に出動、支那軍が不落の要害として堅持した鐵角山の陣地をわづか數時間にして擊破せしめたが、さらに大營鎭より五臺方面に逃走する支那軍を爆擊すべく卅日午後零時二十五分大擧銀翼を連ねて○○の空軍根據地を出動、未だかつて世界空軍史に見ざる空軍根據地の敵前推進を決意し、豪膽にも殘敵の多數存する大營鎭に空軍の主力を推進その一部をもつて敵彈雨飛の中を飛躍數十時間に亘り爆彈およびガソリンの空輸を行ひ、その主力は○○部隊と渾源より進擊し來つた○○部隊に挾擊され、臨路溝を西進して靈地五臺山方面に逃走した、支那軍四萬の集團部隊に對し午後一時より日沒七時まで約六時間に亘つて猛烈な空爆と對地射擊を浴せかけ、臨路口の敵部隊殆んど全部を殲滅、歷史的空爆を行つて午後八時根據地に歸還した

日支親善も和か

北平の孔子生誕祭

盛大に擧行さる

【北平二日發國通】戰火は日每に遠のいて平津の地に平和と建設の芽は次第に伸び育ちつゝあるが、十月一日は舊曆八月廿七日先師孔子誕辰の日である

救世新敎總會ではこの日午後一時和平門內の會堂で禮行記念典祭を行ひ、會長たる江朝宗北平市長、北平憲兵司令招文凱、地方維持會の陸宗輿および日本側からは根本特務機關長、今井武官、小菅民會副長等日支の諸名士多數列席、古雅なる奏樂裡に祭壇に禮拜ついで講演會に移り江會長の先師禮讚の辭に次ぎ根本機關長今井武官は乞はるゝまゝに立ち、孔子精神に基く日支親善を說き滿場の支那人聽衆から割れるやうな拍手を浴びた、かくして日支の眞の提携は東洋道德の宣揚にあることを深く感銘せしめつゝ午後五時盛會裡に散會した

今更ら知る皇軍の實力

武藤夜舟少佐談

【山陰一日發國通】渾源、茹越口の激戰に參加した武藤夜舟少佐は卅日應縣において左の如く陣中感想を語つた

十川、湯淺、麻生各部隊と日夜相接しながら勤務することになりこの上もない幸ひと喜んで居ります、九月中旬○○部隊は長城線および張家口の戰鬪において約十五萬の敵を粉碎し實に赫々たる偉勳を樹て天鎭、陽高、聚樂堡、大同等到るところ敵の堅壘を陷れ今また更に峨々たる山岳地帶を橫斷して敵を潰滅すべく前進中です、將兵は何れも士氣旺盛で皇軍の實力を初めて知つた敵は士氣沮喪し僅か○○の線により虛勢を張つてゐる、山陰城の城壁に立つて朔州平原を眺めると城壁も寺院も民家も皆生氣がない、農民は相次ぐ搾取に疲れ氣息奄々たる有樣であり、皇軍の實力は今まさに朽ち倒れんとする支那の大木の一枝にカンフルを注射してやつたわけです、これに對し支那は抗戰どころか大いに感謝すべきではない

政府系銀行避難

【上海二日發國通】信ずべき筋の調査によれば、上海に本店を有する各政府系諸銀行は二日急遽本店を南京に移し首腦部は重要書類と共に南京に移轉する事に決定した、これは上海附近における皇軍の目覺しい進出に支那經濟界の中樞たる上海が著しく重壓を感ずるに至つたのと一方戰局の全面的進展と長期繼續により國民生活は急迫の度を深め南京政府財政は益々困難となり今後各種の非常手段を敢行する必要に迫られつゝあるのと政府と金融機關との緊密なる連絡を保たんがためである、この結果商業上の業務を殘し財政關係は一切南京に移されるわけで、この前後未曾有ともいふべき政府銀行の上海引揚げは頗る注視されてゐる

韓復渠中央に服從聲明發表

時流迎合の措置か

全線の戰況不利に拘らず支那側は得意の逆宣傳に奔命してゐるが北支方面の戰局に關し左の如き報道をしてゐる、同報道に依ると山東の惑星韓復渠は中央に服從し最高命令に從ふといふ聲明を發表したと稱してゐるが眞意不明で輿論に迎合したものとみられる、

支那側の報道は左の通り

津浦線方面は廿八日白頭鎭の戰鬪後退きて南霞口を堅守してゐる、平漢線方面では正定附近の新陣地に依り反擊を防禦中で共產軍の八路軍は山西省北部に進出した旨を報じてゐる、なほ山東の韓復渠は中央服從最高命令に服從する聲明を發表してその眞意を披瀝したと

救國公債强制應募

將兵戰意を喪失す

【天津廿九日發國通】事變勃發するや早くも財政の窮迫を來した南京政府はさきに救國公債五億元を募集したが、既に一ヶ月を經た今日その應募額は僅かに一億餘元に過ぎず應募者の大部分は官廳、各軍隊等强制的に應募せしめたものであり、しかも何れも一回のみ辛うじて拂込まれただけなので實際の金額は六百餘萬圓に過ぎず、民間から自發的に應募するものは殆んど皆無の心細い狀態を示してゐる、從つて中央軍某師の如きは將兵六ヶ月分の俸給も三分の一が辛うじて支拂はれた有樣で國民は勿論、將兵の戰意は全く喪失してゐる

對支國際動向研究會

聯盟不當採決に反駁の決議

【大阪國通】大阪實業界、言論界の有力者をもつて組織する對支國際動向研究會では一日午後緊急總會を開き高橋大阪朝日常務、平川大每主幹、濱崎、今井博等會員二百餘名出席、支那事變に對する國際聯盟の態度につき協議の結果日本に對する聯盟の不當決議を反駁する左の如き決議を滿場一致可決し直ちに聯盟事務總長アヴノール氏宛打電した

決議　日支空軍の非戰鬪員爆擊に關する聯盟の決議はわが軍を誣ふること甚しきものにして事實に基かず專ら支那側の宣傳のみによる偏見なり、廣東九月廿四日發ルーター電報の虛電なりしは香港サウスチャイナモーニングポスト紙の九月廿七日記事にて明かなり、南京においても支那側宣傳の如き事實なかりしは現に各國使臣の認むるところなり上海においてカセイホテルその他を爆擊し無辜の白人および市民千八百人の死傷を出し、またフーヂア號を襲擊せるは支那空軍の暴擧ならざるや聯盟の日本軍非難は全く事實顚倒せるものなり、吾人は嚴肅なる態度をもつて聯盟の決議に反對し斷乎としてこれに抗議す

吉田大使

カ大僧正に警告

【ロンドン一日發國通】ロンドン駐箚帝國大使吉田茂氏は一日カンタベリー大僧正に書翰を送り、現在英國內の反日運動は大部分支那側の逆宣傳による根據なき作りごと又は無稽なる誇張に基くものなる事實を指摘、カンタベリー大僧正が何等これを確實にせずして來る五日ニユース・クロニクロ紙（自由黨系）主催の反日大會の司會方を輕率に受諾したのに對し抗議的注意喚起を行つた

同時に吉田大使はリツトン卿その他右反日大會の演說承諾者にも同樣の警告を發した

歸還のム首相

獨伊親善の永久不變を

歡迎の群衆に絕叫

【ローマ卅日發國通】ベルリン・ローマ樞軸强化の大使命を果したイタリー首相ムツソリーニ氏は卅日午後六時半ローマに歸着市民に挨拶するため同七時ベネチア宮のバルコニーに姿を現はし熱狂せる群衆の歡呼に答へた後左の如き演說を行つた

黑シヤツ黨員諸君、余はヒトラー總統との會見において深き印象と忘れ得ざる思ひ出とを土產に本日歸國した、ベルリン・ローマ樞軸は一層固きを加へ獨伊の友情は兩國民の胸底深く刻まれて永久に殘るであらう、しかしてかゝる友情は獨伊兩國の緊密な連繫更に進んでは歐洲の復興および諸國間の平和の招來を目的とするに外ならぬ

首相は更にスペイン問題に言及し

ファシスト革命及ナチス革命が成就してこそはじめてスペインは歐洲文化を護る第三の支柱となり得るのである

と叫んだ

半島同胞の事變美談

こゝにも銃後の熱誠

今次事變に際して得られた數々の貴重な經驗の中で、特に銘記せらるべきものに、わが半島同胞のもりあがる銃後の熱誠がある

支那事變を契機として半島同胞が示した烈々たる愛國の至情は從來見られなかつたほどに力强いものがあり、東洋平和の大旆を翳して進む日本民族の將來に力强き暗示を投げかけるものだ、それかあらぬかソヴィエト・ロシアでは沿海州に居住する半島人の大量奧地强制移住を斷行し、半島人の反ソ運動を未然に摘みとつて極東の禍根を絕たんと努力してゐるほどである

いまこれら愛國の至誠に燃える半島人の銃後に咲く美談の一、二を紹介して見やう

□

京城驛を搖がす「萬歲、萬歲」の怒濤の渦卷の中に白鉢卷の一鮮人老翁が每日のやうに陣太鼓を打鳴して皇軍の出征を見送り、驛構內に散つた紙製の日章旗を「踏まれては勿體ない」と息子と一緒に拾ひ集めるなど、また京城市內のそこゝに立つて千人針を乞ふ可憐な鮮人少女もあれば「バリカン奉公」だと十一人の弟子と一緒に出征兵士に無料奉仕した理髮館主人もあつた

「凱旋するまでは家賃はりません」と出征兵士家族の家賃も受取らなかつた家主さんもある

淸州高女三年生の梁堂[illegible]さん（一七）は同級生の宮[illegible]百合さんと互ひに指を切つて血染の日章旗を北支皇軍に贈つてゐる

匿名の鮮人紳士が數萬圓を獻金したり貧しい印刷職工も貧[illegible]

[illegible]轉手、看護婦を志願するものもおびたゞしい數に上つてゐるが半島航究機獻納會を組織した有名な慶北道會議員文明琦氏は老いの身を北支に派遣されたいと當該軍部に懇願したが容れられないため今度は「半島靑年義勇軍」組織の計畫を發表し數日にして二百餘名の志願者を集めて朝鮮憲兵隊司令部に義勇軍結成許可を申請したがこれまた容れられなかつたまた京城府內の七十個町會總代は七月廿日會合を開き一萬人前後の義勇師團を編成し文明琦氏の第一軍に續く第二軍とすることを申合せたが、これも遂に當局の慰撫するところとなつたといふ

非常時局を認識し、日本臣民たる自覺に目醒めた半島同胞の各團體は一齊に時局認識啓蒙運動を開始し中樞院參議韓相龍氏ほか八名は各道に講演會を開催して遊說し步兵七十八聯隊附金少佐出席の京城における講演會など聽衆五千八百名の半島人は嵐の樣な拍手を浴びせ國語をもつて萬歲を三唱した孔孟の流れを汲む全鮮の儒生も二千年の傳統の殼を破つて蹶起し明倫道經學院も講演に論壇に一齊に活動を開始した、宗敎團體の活動中特に注目されるのは曾てテロ運動により朝鮮統治上に暗影を投じた天道敎の動向である天道敎は中樞院參議崔麟氏を首領とし、信徒十萬を擁する新派と第四世朴寅浩氏を敎主とし敎徒八十萬を有する舊派に分裂し思想と權力の抗爭を續けて來たのであるが、北支事變を契機として大同團結し「東洋の盟主日本人」として全信徒百八十萬に飛檄し銃後の支援を絕叫するに至つた基督敎、朝鮮佛敎、侍天敎もこれに呼應し民心作興に乘出すなど未曾有の機運を招來するに至つてゐる

曾つて第三インターが東洋赤化の前線に踊らせようと試みた半島同胞が今次事變とともに翻然日本國民としての使命にめざめたことは何にも增して注目すべき現象である

羅南憲兵分隊管內で最も過激な赤色分子の地盤であつた明上郡上加面の農民道場も時局の警鐘に翻然悟り同分隊宛に金一封の國防獻金を屆け出て往年赤い女性として檢擧され起訴猶豫中の李泰錫さんも事變とゝもに廿圓を獻金して無言の轉向を示してゐるまた左翼轉向者で組織されてゐる大東民友會も二百の會員に飛檄すると共に支那を膺懲せよ、擧國一致同胞的協力を捧げよと街頭に呼びかけるに至つてゐる

新京取引市況（二日後場）

現物	寄引	出來高
高粱	—	—
米高粱	—	—
小豆	—	—
玉蜀黍	—	—

先物	寄引	出來高
●大豆 十月限	六、〇六〇 六、〇四〇	四〇一車
十一月限	—	—
●高粱 十月限	—	—
十一月限	—	—

手形交換高（二日）

四八枚　[illegible]

鮮魚小賣相場（十月二日）

品名	最高	最低
活鯛	一、〇〇	五〇
冰鯛	四〇	…
中小鯛	五五	四〇
カスゴ	一六	…
チヌ鯛	三三	三〇
白サエビ	八〇	…
連子鯛	三四	…
アマ鯛	三四	二八
イセエビ	九五	六〇
車エビ	七五	六〇
小エビ	三一	…
中小エビ	六五	六〇
小スマ	…	…
ブリ	…	…
ヤズ	二五	…
ヒラス	四〇	三一
トアジ	…	…
マナ	二七	…
マ、ス	…	…
サワラ	三〇	二八
サアジ	二七	二四
ムスキ	四〇	二四
スアジ	二〇	一七
小アジ	…	…
コペ	二〇	…
アジ	…	…
サバ	三三	二〇
イトヨリ	…	…
赤ムツ	二七	…
アコウ	三四	…
メバル	一五	…
アブラメ	…	…
タラ	二七	…
タコ	二四	一五
紋甲イカ	…	…
甲イカ	二一	一四
松イカ	…	…
水イカ	…	…
飯蛸	…	…
二番イカ	三〇	…
ヒラメ	二七	一四
カレイ	…	…
星カレイ	二四	…
目高カレイ	二〇	一七
小シイラ	…	…
ダチ	一三	八
小市	一五	一四
ホーボー	二四	…
カマス	…	…
イワシ	…	…
コノシロ	一八	一六
コチ	二一	…
タナゴ	…	…
オコゼ	二一	…
サシマ	…	…
ハゲ	三八	三〇
太刀魚	一三	…
キス	五〇	三八
サヨリ	二一	一三
アナゴ	五〇	一五
ハモ	一六	四四
ハゼ	…	一八
白魚	一、一〇	八〇
ウナギ	六五	四七
アワビ	一五	…
[illegible]イワシ	二七	…
オバシ	四〇	三〇
黒生子	…	…
貝柱	…	…
貝	一四	…
蜆貝	一三	四〇
赤貝	四五	七
カキ	…	…
ムマグリ	一四	…
ハマグリ	一〇	六
カマボコ	九、一八	一五
カマボト	一七	…
スマ	…	…
鯨木（切り身枡場）	一、三〇	五五
メジロ	…	…
ブラス	七五	四〇
ヒラ	…	…
鰹	…	…
ハガツヲ	…	…
マケス	五五	四五
サヲラ	四六	四〇
サキ	四〇	三〇
スズ	四〇	三五
ニベ	四〇	三五

模範移民村千振鄕が 協和會分會結成

―民族協和の大いなる楔―

豫て三江省方面日系移民に關し民族協和の精神により協和會分會を作つてはとの聲が各方面に盛んとなりつゝあつたが、その第一着手として湖南營千振鄕が率先分會を結成する事となつた、發會式出席後于中央本部長は右に就き語る

日系移民の分會は之が初めてゞ非常に意が深いものがある、特に千振分會は日系移民のみならず附近の滿人農民も一緒に分會に參加してゐるので以前は日本人の移民は滿人からとかく猜疑の念を持つて見られてゐたが、近頃では日系移民が匪賊に對して充分に武裝して防備をしてゐるので附近の治安狀態も非常によく、そのために滿人も移民部落に喜んで集まる樣になつた、それで今度の樣に日本人の移民が分會を結成したことは民族協和の上からも又日系移民の將來に對しても非常に興味深い問題だと感じた

光輝ある三十年の 歷史の幕閉づ

吉林居留民會解消

三十年の光輝ある歷史の幕を閉ぢる吉林居留民會解消式は十月一日午後三時より公會堂にて功勞者及一般市民四百八十名出席して擧行、稻村民會長に次いで廣田外務大臣(代讀)植田全權大使(代讀)中野總領事の告辭等あり、續いて閻吉林省長、白吉林市長の挨拶あつて功勞者表彰式に移り、堀井覺太郎氏外四十五名に記念銀盃及び表彰狀、高橋義男氏外八十五に表彰狀と共に木盃を贈呈して、民會永年の功勞を感謝し祝宴に入り〇〇部隊長の發聲で天皇陛下の萬歲を三唱、中野總領事の音頭で吉林居留民會萬歲を齊唱して午後七後感慨深く散會した

奉天高等法院 百廿萬圓で 廳舍新築

滿洲國司法部では治外法權撤廢ならびに滿鐵附屬地行政權移讓に備へ全國司法機關の擴充整備を急ぎつゝあるが奉天省を始め通化、安東、興安西南五省に亘り地方法院ならびに檢察廳各十二區法院ならびに檢察廳各廿八を擁する奉天高等法院ならびに高等檢察廳においては中央の方針に基き着々裁判官養成及日系職員增員によつて管下司法陣の擴大强化に努める一方、建國以來何等改正も加へられず舊政權の遺物として今日まで放置された遼中、金州、寬甸その他管下十二縣における縣司法公署ならびに兼理縣司法公署を新情勢に適應する近代的區法院制度に改組すべく三ヶ年計畫を樹立、本年度よりこれが實施に着手することゝなつたが

更に現在の高等法院ならびに檢察廳々舍は右業務擴張により著しく狹隘を告げると共に朽廢危險を感ずるに至つたので、これを大々的に移轉新築すべく目下敷地その他につき鋭意準備を急いでゐるが、大體小西邊門外の市公省新廳舍隣接地區に總工費百廿萬圓を以て明春解氷期と共に建設工事に着手する模樣である

駐哈外務局 特派員に 下村氏を任命

哈爾濱駐在外務局特派員施履本氏の濱江省長轉任により同特派員の椅子は空席のまゝであつたが、二日附をもつて外務局理事官下村信貞氏が正式に後任に任命された

外務局理事官　下村信貞
任駐哈爾濱外務局特派員　敍簡任二等

なほ下村氏は外交部俄國科長哈爾濱特派員公署總務科長を經て現職に任じたが、その間北鐵讓渡交涉、滿洲里會議に手腕を謳はれた少壯有爲の外交官である

諮詢事項二件 二日附公布

廿九日の參議府會議を通過した諮詢事項十件の中八件は一日附をもつて公布されたが、二日附公布されるものは左の二件である

一、支那事變のため國軍又は日本國軍に從軍したる者に對する租稅の減免等に關する件

右は今次事變のため從軍したる者に對し租稅の減免及び徵收の猶豫をなす

一、交通部內臨時職員設置制中改正の件

右は時局に鑑み電信電話等による通信を監視せしむるため郵政管理局に臨時職員を增置し、又郵便物檢閱のため郵局に臨時職員を置く必要によるものである

讀者の領分

(投稿歡迎　中傷不可)

閃めかぬ軒の旗

這次の保定滄州陷落は我討支行の劃期的戰勝として各州之が慶祝の典を擧ぐる洵に意義深きもの我新京の如き寧ろ其の擧の甚だ遲かりしを喞つものである扨當日は表慶の爲め各戶殘らず國旗を揭揚すべきは示指を俟たざる處で而も新聞又はラヂオを以て屢促されたるに拘はらず市中一部には何の故か國旗を揭げんともせず殊に相當地位ある人士の住宅街とも見ゆる何路何胡同の如き又は旗行列の通路たる目拔の商店街例せば興安大路の如き戰勝祝賀など何處吹く風ぞと許り軒頭に日章旗の片影をも見せざる者多きは何を語るものであらうか小事に似て小事に非ず之が國都であり司令部所在地の住民であると思ふと三嘆時久しくするものである、縱へ一部とは云へかゝる節度無き非國民的市民に對し吾人は彊ち彼等の尻つぺたを鞭うたんとするものであると共に一面公的行事の徹底方に關し自治統制機構の充實を希ふや切である(T・I生)

哈爾濱郊外顧鄕屯の 化石埋沒地帶發掘事業 愈よ三日より開始

滿洲國民生部を主體とし濱江省ならびに哈爾濱市兩公署後援の下に考古學會の世界的權威南滿教育研究所遠藤博士以下日滿露一流の科學戰士を總動員し、古代人類研究史上劃期的一大壯擧として學界は勿論各方面より興味と關心を集中しつゝある哈爾濱郊外顧鄕屯化石埋沒地帶發掘事業については豫て當地大陸科學院分院において着々準備工作を進め、文獻、記錄、寫眞、地圖等發掘上貴重な參考資料を蒐集するとゝもに、發掘地帶に境界線を張り繞らし一切の準備を完了するに至つたので、いよ〳〵二日來哈する遠藤博士を總指揮者として吉村科學院分院研究士、露人ボノソフ氏助手良淸懷氏ほか露人助手四名をもつて三日より約三週間に亘り苦力五千名(延人員)を使役して千古の神秘を藏する無限の寶庫に對し鋭意科學のメスを加へ、考古學界空前の壯擧を決行することゝなつた發掘の目標とするところは

一、如何なる天然記念物を發見するか

一、大陸地質學上參考資料の採集

一、現在までに發掘された部分的な人類の化石は如何にして創造されたか

の三項目を主眼としてをり、北平化石地帶とゝもに世界最古の化石地帶と併稱されてゐる顧鄕屯の化石發掘事業は果して世界的大發見を齎すか、或は徒勞に歸するか、今や科學と自然の一大交戰譜は世人の前に展開されんとしてゐる

發掘を前に 福島主任語る

諸般の發掘準備工作を終つた大陸科學院哈爾濱分院福島主任は壯擧を前に次の如く語つた

顧鄕屯化石地帶は哈爾濱都市計畫上近く市街地として建設工事が着手されるので早く發掘したいと計畫を進めてゐたのですが經費關係その他の事情で遲延してゐましたが漸く實現に漕ぎつけました、二日遠藤博士の着哈を待ちいよ〳〵科學のメスを揮ふことになりました、果して成功しますかどうか、現在までに發見されたものは人類の指の骨や、人類が加工したと思はれる臼骨および空舟の材料に使用された斷骨等があり、日滿露佛學界の權威によつて種々發掘研究された歷史をもつてゐますが完全な人類化石は未だ發見されてゐないので、今次の發掘作業によつて人類の文化史ならびに地質學上貴重な資料を發見し世界の耳目を聳動せしめたい念願でゐます

鐵道總局辭令

工作局機械科副參事　一條豪太郎
大連鐵道工場檢査長を命ず
工作局機械科參事　小林市太郎
大連鐵道工場第三作業長を命ず
大連鐵道事務所車務科副參事　川口幸次郎
奉天鐵道事務所車務科庶務係主任を命ず

新義線開通で

阜新市街歡喜にどよめく

東洋のザールとまでいはれてゐる阜新大炭田を橫斷する新立屯＝義縣間百卅一哩五粁の新義線は、昭和十年六月全長七百八十六米の大凌河鐵橋工事着手を皮切りに全線を六區に分ち總工費一千萬圓を投じて滿鐵が建設したもので、本年四月一日全線の假營業を開始し、一日建設局の手から鐵道總局に引渡しを終り本營業が開始された、阜新縣當局でも新都市計畫を樹てゝをり名實共に東洋のザールとなるのも近い將來であらう、丁度一日は滿炭阜新工場創設一周年記念日に相當し阜新の街は鐵道本營業開始と共に二重の喜びに包まれてゐる

原始的な風物詩

甘珠爾廟祭と定期市

(三) ハイラルにて　杉原生

甘珠爾廟の例祭

蒙北の邊境に輪奐の美を極むる甘珠爾廟の大伽藍は六町四方の塀壁にその聖域を區劃され、山門高く「壽寧寺」の扁額が揭げられてゐる

堂宇は山門のほか鼓樓、鐘樓、經藏をはじめ十六間四面の本廟に幾多の大小建築物が整然と羅列し、牙籌然として聳えてゐるのだ、廟を圍繞して喇嘛僧の住宅が七八十戶押並んでゐる、木骨に泥土を塗つた灰色の小さな粗屋で、そこに七、八名の喇嘛僧が共同生活を營んでゐるのだ、彼等の職掌は梵行のほか牧畜、醫藥炊事、會計等にそれ〴〵分擔されてゐる

門を潜つて本廟に入つて行くと興安局の貼紙で「敬意を失はないやうに」と日本人への注意が與へてあつた、香煙立ちこめた薄暗い御堂の中には十數名の喇嘛僧が鉦鐃を敲いて讀經を上げてゐる

こゝの本尊は觀音母像にも似た美男に在す御佛で、その側には仁王の如き蒙古佛が熱火の錫杖を突いて頑張つてゐる

御堂の壁龕の中には由緒深い『甘珠爾』の聖典百八卷が綿繡の紗に包まれて藏されてあつた

甘珠爾廟の史實も詳かでないが、大體乾隆の四十九年、即ち今から百五十餘年前に建立されたものだと傳へられてゐる

當時烏爾順河邊りの山上に小さな蒙古包の寺廟があつて、いたく地方民から尊崇されてゐた、そこには甘珠經百八卷の聖典が秘藏されてあつたのである、(或は皇帝から下賜されたものだともいふ)それを時の高宗帝の嘉慶十四年、勅命をもつて現在の場所へ移し漢名を壽寧寺と稱する大喇嘛廟を建立したのであつた

甘珠爾聖典は百七卷までが西藏語で書かれ殘り一卷だけ蒙、滿、藏、漢各語の對譯となつてゐる、甘珠爾の俗稱はこの聖典に由來したものだといはれる、歷代淸朝は蒙古統治策として喇嘛僧に稱號を與へ、食祿を支給し、或は活佛を宮中の祭典に參列せしめる等凡ゆる優遇法を講じて彼等の歡心を求め、巧みに宗教の力を利用して政治的效果を收めたのであつた、かくて慓悍なる成吉斯汗の末裔どもは去勢されて面影なく喇嘛の因習と戒律に支配される軟弱なる民族と化したのである

現在甘珠爾廟は東西新巴爾虎旗の喇嘛寺の總本山となつてゐる、此處に常住する喇嘛僧は第十三世首席喇嘛希埒圖以下二百名である、蒙古人の子弟は長男以外は可愛い子供の時分から喇嘛廟に入れられ佛弟子となつて求道に專念する

一人佛門に歸すれば九族天に昇るのであつて、家庭との繫りは極めて密接で、宴食の經濟的地盤を持つてゐる、喇嘛は彼等の生活の凡てなのである、定期市の開催中諸方から參集した喇嘛僧達は包を歷訪して施物を乞ひ、或は路傍に讀經して行人の喜捨を待つてゐる、物慾に恬淡な蒙古人達は佛恩報謝と心得て惜し氣もなく身につけた財寶を喜捨して行くのである

例祭大法會は定期市終了後約十日間にわたつて營まれる

廟祭は例年陰曆八月一日から營まれる、定期市を引揚げた蒙古人の老若男女は競うて禮拜し、さしもの大伽藍を埋め盡すのである

大法會は先づ劉喨たる喇叭の音に始まり續いて法螺貝が鳴り響くと赤色の二十五條の袈裟を打懸け黃色の法衣チャンチーを羽織つた長老の喇嘛僧が法座に着き、やがて道士の發聲で千餘名の衆僧これに和し朗々たる梵唱の聲は堂を搖がす、その光景は眞に莊嚴を極め善男善女を隨喜欽仰せしめるのである

次いで梵鐘が鳴り鉦鐃が響き鳴々然たる中に茶坊主が參列のラマ僧たちに茶を運べば彼等は懷より木椀を出してこれを請け、咽喉を濕ほして再び讀經を續けて行く、その珍景は蒙古ならではは見られない奇習である

かうして大法會は約十日間にわたつて施行されるが、この期間こそ呼倫の曠野を擧げて現世の極東淨土と化すのである

宣傳宣撫班の活動

今年度の定期市は恰度北支事變の勃發で日滿を擧げて戰時體制へ移行し、殊に察哈爾では德王を盟主とする內蒙義軍が再び立つて進擊を開始せる折柄ではあり各機關ではこれ等內外の情勢に鑑み此機會を利用して國內蒙古人に對する宣傳宣撫工作に大々的に乘り出すことゝなつたのである

先づ興安北省公署を中心として興安局、民生部、國務院情報處、內務局、民生部、產業部畜產局協和會、鐵道總局、恩賜財團普濟會、東西新巴爾虎旗公署その他民間有志團體等各機關合同組織の下に講演會、映畫會施療施藥、家畜共進會、競馬相撲等各種の行事が盛り澤山に催されて一段と景氣を添へた、これ等の各班員はいづれも前日より乘込んで來て蒙古包の中に雜居して活動準備を整へてゐた

講演と映畫の夕は五、六、七の三日間に亘り南北二ヶ所の草つ原で催された、約千名近い蒙古の男女が集つて來て黑山の如く蹈つてゐる、講演者は高い壇の上から群衆に叫んでゐた、極く單純な言葉で建國精神や日滿不可分關係が繰返し說明され、そして

北支では今日本軍が暴戾な支那軍を膺懲してゐる、察哈爾では德王を盟主とする內蒙義軍が奮起してゐるのだ、諸君もまた光榮ある成吉斯汗の末裔として五族協和するこの東亞の道義の國滿洲國のために盡さねばならない

成吉斯汗の名前が出ると群衆の中からは拍手が起つた、英傑大汗の魂はいまなほ民族の血の中にかすかながらも傳統的に流れてゐるのだ、映畫は素朴民族にとつては百パーセントに效果的である

スクリーンの中に人物が動き出すと、それがどんな仕掛けになつてゐるか、影なのか實在の人物なるか不思議な錯覺に魅入られてしまふのだ、寫眞は日本の陸海軍の威容から大東京の實寫などが紹介されたが、それは彼等にとつては驚くことばかりでピンと來ない、やがて滿洲國に移り呼倫貝爾の草原が現はれ放牧の羊群が映つて來ると、觀衆は一齊に手をたゝいて喜ぶのであつた

施療班の活動は豫期された程ではなかつた、これは宣傳の缺如からで、蒙古人の衞生思想の不徹底と殊に重病者は遠い山河を越えて定期市に參集することは不可能でもあり、その何れもが極めて困難な原因によるものである、蒙古を亡ぼすものは梅毒であるといはれる如く彼等の殆どが遺傳性梅毒に冒されてゐるのだ、施療患者は一日約六、七十名で四日間に約一千本のサルバルサン注射が行はれた、これら蒙古人に對する衞生對策は焦眉の重大問題である

餘興としては競馬や相撲が行はれた、蒙古競馬はさすがに壯觀なものである、老幼の騎手數百騎が五里或は十里餘の彼方から一時にどつとスタートして草原の直線路を土煙をあげて疾驅して來るのだ、この競馬は大抵未明に行はれたものだと言ふが、彼等には競馬の駈引や追込みなどいふことはなく最初から鞭を當てゝ必死に飛ばして來る、スタートの豫報があつて待つこと約一時間、やがて草原の地平に土煙りが夏雲の如く湧いて來たのが見える、とみる間にその中から黑い粒が一騎、二騎續いて一塊となつて現はれて來て見る〳〵近づいて來た、裸馬に浮くやうに乘かつて最後の鞭を當てゝゐる、やがてゴールインすると一等から十五等まで入賞者は皆十一、二歲の少年騎手ばかりである、重量に制限がないので老頭兒連中は身輕な子供にかなはないのだ

蒙古相撲は額省長が棧敷代りに野宴を張つたその前の草原で催された、肩當てに日滿兩國旗を描いた各部落の選手たちが手どり足どり可笑しく踊り跳ねながら飛出してきて勝手に相手を見付けて取組を初める、土俵のない相撲だがレスリング等と違つて日本相撲に酷似してゐる、勝負は相手が轉ぶか膝を突くか手を突かすれば決まるのである、そして勝負が決れば又踊りながら歸つて來るのだ、蒙古人の男女は黑山の如くその周圍に人垣を作つて各部落の選手を應援するのである

競馬

降雨、馬場不良で 番狂はせ續出す

秀輝(脇山騎手)百廿一圓の大穴

きのふ優勝前日競馬

新京競馬三次第七日目は、けふの優勝前日競馬に興味を煽り、朝來よりの天候不良にファンの出足をくじいたが、不氣味な大穴續出を狙つて續々押掛け、さすがに華やかな競馬時代を物語り平日稀れの活況を呈した、當日は馬場重しの狀態に番狂を豫想された通り第一レースより、新譽十二圓四十錢の好配當を出し、第三レースに美光の十二圓四十錢、同じく銀嶺三十三圓の複配當、第五レースには泉山の廿圓三十錢と引續き、第七レースに第三羽衣三十二圓四十錢の大穴、第九レースには鯉瀧十四圓四十錢、第十レースに秀輝の脇山騎手見事な最後の追込みに第二矢風を三馬身引放してゴールイン、百二十一圓九十錢の大穴配當を出してファンの度膽を拔いてしまつた、いよ〳〵今日は定例競馬の名殘りを惜しまれる第三次の優勝戰で日曜日の好條件に惠まれ豪華な場面を展開して、續く記念競馬への轉回であらう、尚當日の成績は左の通りである

▲馬場　稍重し
▲入場人員　一二、六四名
▲馬券總賣上高　五一、一八五圓
▲搖彩票賣上高　一〇、三四〇圓

出馬及び勝馬豫想

▲第一抽古二、〇〇〇米
一着　一　蘭花　五三　久保
二着　二　秋風　五九　前田

▲第二秋抽二、〇〇〇米
穴　一　趙鵬程　五八　久保
一着　二　高風　六〇　田中
三　惠　五八　梶原
二着　四　拉麗德　六八　久保田
五　第二羽衣　六〇　清水
六　玉飛　五五　谷尾

▲第三抽古二、〇〇〇米
一　勝駒　六〇　落合
二着　二　大江戶　五七　久保田
一着　三　廿王　六八　甲斐(均)
穴　四　金大川　五七　前田
五　赤穗　五七　梶原
六　公星　六〇　谷尾

▲第四抽古障碍二、八〇〇米
一　轟　六四　松本
穴　二　舞姬　五九　新原
一着　三　若駒　六〇　濱崎
二着　四　賽玉　六〇　谷尾
五　快々　六〇　高田
六　一貫　六〇　前田
七　新松綠　五五　吉滿

▲第五新古外馬一、八〇〇米
穴　一　金進　六三　久保田
二　初瀨　五九　田中
三　雲祥　五五　梶原
一着　四　錦具　六八　新原
五　一天　六六　清水
二着　六　哈克登　五六　吉滿
七　新長　六四　松本
八　海星　六四　久保

▲第六抽古一、八〇〇米
一　公富　五八　落合
穴　二　頂力　五三　上原口
三　長春　六三　內田
一着　四　第二矢風　五七　淸水

▲第七新古外馬二、六〇〇米
一　新泉　五六　內田
一着　二　橫濱　六七　上原口
三　奉天若虎　六三　梶原
四　美光　五五　吉滿
二着　五　金駒　五六　甲斐(均)

▲第八秋抽一、八〇〇米
一　松竹　五八　新原
二　陸王　五五　梶原
三　金大英　五五　前田
四　弘洋　六一　內田
穴　五　光旭　五五　久保田
三着　六　榮盛　五七　谷尾
二着　七　東巧　五七　高尾
一着　八　新常陸　五四　甲斐(均)
九　公月　五八　脇山

▲第九秋抽二、四〇〇米
一　金嵐　五八　甲斐(均)
一着　二　來北　六〇　高尾
二着　三　愛國　五八　前田
四　吉生　五七　梶原
五　泉山　五七　新原
穴　六　日昇旗　六〇　久保田

▲第十抽古一、八〇〇米
一　英飛　五八　久保
一着　二　睦月　五七　上原口
穴　三　幸成　六三　高尾
二着　四　夕風　五九　落合
五　南天　五五　谷尾
六　金大鵬　五四　前田

▲第十一抽古優勝二、四〇〇米
一　第二飛龍　六〇　田中
一着　二　八二　六四　甲斐(均)
二着　三　精養軒　六六　久保
四　早姬　六三　吉滿
五　堅城　六六　新原
六　北州　六六　松本
七　三治　六四　前田
八　惠六　六八　久保田
穴　九　公武　六六　高尾

▲第十二抽古方變二、〇〇〇米
一着　一　常陸　六六　甲斐(均)
二　英新　六三　吉滿
三　九千部山　六六　上原口

第七日成績

四　松影　六二　脇山

▲第一競馬(二、二〇〇米、三頭)1新譽(三分二一秒二)2北龍3常陸、配當|單一二圓四〇、搖彩二九圓八〇、等外三圓七〇

▲第二競馬(二、二〇〇米、二頭)1一二三(三分二九秒)2若月、配當|單五圓四〇、搖彩1四六圓九〇、等外一一圓七〇

▲第三競馬(二、六〇〇米、六頭)1美光(三分三〇秒二)2銀嶺3橫濱、配當|單一二圓四〇、複1七圓九〇2三三圓、搖彩1一三五圓六〇、等外一〇圓

▲第四競馬(二、〇〇〇米、四頭)1公流(二分五八秒四)2蘭花3松影、配當|單九圓一〇、搖彩1一三〇圓一〇、等外一〇圓八〇

▲第五競馬(二、二〇〇米、四頭)1泉山(三分二四秒二)2吉生3拉麗德、配當|單二〇圓三〇、搖彩1一四九圓三〇、等外一二圓四〇

▲第六競馬(二、〇〇〇米、六頭)1三治(二分四〇秒四)2新京北斗3武勇、配當|單八圓一〇、複1七圓一〇2一一圓九〇、搖彩1二三〇圓四〇2五七圓六〇、等外一八圓

▲第七競馬(二、〇〇〇米、五頭)1第三羽衣(三分九秒一)2弘洋3榮隆、配當|單三二圓四〇、複1八圓八〇2五九圓五〇、搖彩1二三八圓、等外二四圓

▲第八競馬(一、八〇〇米、五頭)1菊勇(二分四〇秒二)2夕風3九千部山、配當|單七圓六〇、複1五圓五〇2六圓八〇、搖彩1二七九圓、等外二九圓

▲第九競馬(一、八〇〇米、八頭)1鯉瀧(二分二三秒)2雲絆3哈克登、配當|單一四圓四〇、複1五圓九〇2五圓二〇、搖彩1一九四圓、等外四圓

▲第十競馬(一、八〇〇米、九頭)1秀輝(二分三二秒一)2第二矢風3公富、配當|單一二一圓九〇、複1一七圓二〇3七圓二〇、搖彩1六八五圓四〇、等外四〇圓

▲第十一競馬(一、八〇〇米、五頭)1新朝風(二分三八秒)2東功3陸王、配當|單八圓二〇、複1六圓2八圓七〇、搖彩1二九四圓2七三〇圓六〇

▲第十二競馬(二、〇〇〇米、三頭)1黑疆(三分九秒四)2北疆3滿鮮、配當|單七圓六〇、搖彩1二一七圓六〇、等外二七圓二〇

正金銀行辭令

正金銀行は一日附をもつて左記人事異動を發表した

マニラ支店支配人　大宰正伍
天津支店支配人　堀江榮助
歸朝を命ず
哈爾濱支店支配人　河村一郎
マニラ支店支配人を命ず
天津支店支配人を命ず
神戶支店支配人　飯島壯次郎
哈爾濱支店支配人を命ず
奉天支店支配人　金井鉦彥
神戶支店支配人を命ず
大連支店副支配人　尾形亮
奉天支店支配人代理を命ず

家庭

姙娠中の禁食に 隨分デタラメが多い

絶對に食べてならぬものなし 偏食が却つて心配

姙娠中の母體の榮養のいゝ悪いはやがて生れ出る胎兒の健全な發育に影響をおよぼすことの大であるのはいふまでもないこと、しかしながら世間ではよく姙娠中はあれを食べてはいかん、これを食べてはいけないといふ一定の食物に對する禁忌が云ひ傳へのまゝ現在なほ行はれてゐる事實はしばしばみうけるところです。勿論この中には今日の科學から見ても正しいことが少くありませんが他方何ら根據のない滑稽にすぎたものも多く、その結果只でさへ顆阻その他で榮養の不足を來たしやすい姙産婦は益々榮養障害を來たし、そのために生れてくる赤ン坊は弱い虛弱兒童となることが多いものです。

云ひ傳への種類

私は先ごろ東京府下の女子青年團員百五十八名について、彼女らの抱き且つ行つてゐる所謂姙娠中の禁食の調査を行つてみました。左に示すものがその結果で、食べてはいかぬとする食品の多いものから擧げれば。

辛子二三（人）、油一六、生姜一四、柿一〇、肉九、鴨六、兎六、八ツ目鰻四、ホーレン草四、章魚、ごぼう大根おろし、サケ、貝類（以上各三）、ワサビ、西瓜、とうもろこし、氷水、魚類するめ（以下各二）、黒鯛芋頭、豆腐、梨、たけのこ山椒、ソバ等（以上各一）

ばからしい理由

これ等の食品が禁食とされてゐる理由は例へば肉を喰へばその動物の形の子供が生れるうさぎは三つ口、鴨は指が四本、八つ目鰻は目がたくさん章魚やするめは足が澤山……の子供が生れるといつた流儀の今日の進んだ食品科學からすればまつたく噴飯に堪へぬ迷信に基くものが大半で、またホーレン草のやうなもつとも榮養價に富んだ野菜も寄生蟲がわく、下痢をする等の根のない理由からしりぞけられてゐるのがみられます。

理由のある禁食

一方辛子、生姜、ワサビ等の刺戟性食品や夏場の氷水節刺禁食とされてゐるは正しく、これらの刺戟物を多くとるときは、只さへ姙娠中興奮し易い神經を餘計たかぶらせることになり、又腎臓をわるくしやすく、氷水は冷え—下痢—流産の結果をみることが少くありません。ただこれらのものも絶對的に禁ぜねばならぬものではなく、少量を用ひれば却つて食慾をおこす効果があります。

偏食に注意せよ

要するに姙娠中も一般には禁ぜねばならぬ食品といふものはなく從つてあれこれと食物をえらんで偏食に陷ることのないやうつとめていろ〳〵な物を食べて母體の榮養を高むべきであります。

料理獻立

ピーマンの丸漬

ピーマン（青唐辛子）もだいぶ一般向になつてまゐりました。けふはこれを朝鮮風のお漬物とするこしらへ方を申上げませう。秋らしい香りでございます。お酒のお肴にも喜ばれます。

【材料】（五人前）
ピーマン小さいもの二十個
大根 中位半本
白菜 一株
しその穗 少々
貝柱 五匁位
ひね薑 少々
唐辛子 二本
醤油、鹽、調味料

白菜、大根を切り鹽をかけて押しておき、ピーマンは湯どほしして貝柱、唐辛子、薑、大根千六本、穗じそを加へ味をつけてまぜたものを詰め上に白菜と大根と生姜をのせ蓋して二日位おきます。

パリのお化粧 日本紙が大持て

顔の脂肪氣を試すのです

我國の半紙やチリ紙がパリッエンヌの化粧室に進出しました。然もこれ等の日本紙（パリでは、絹は紙と呼んでゐます）が、新化粧法としてなか〳〵人氣があるといふ愉快な話。

◇…では、あちらの彼女たちが、どんな具合に日本紙を活用してゐるかと云ふと…

（目）（覺）めて、まづお化粧にかゝらうとする前に、四角に切つた小さい日本紙の小片を一枚づゝ顔一面に、たとへば額に、鼻のそばに、口の周圍に、頰に順々にはり付けるやうに強く指でこすつて見ます。附着するのもあれば、パラリとおちるのも出るわけ。

◇…落ちたのはそのまゝにします。附着したのをはがして見ると、アブラのために（紙）よごれて半透明に（は）なつてゐます。アブラ氣が少い場合は半透明にまではいたりません。とマアこういふ工合で、一つの顔の中にもアブラぎつた個所とさうでない個所とがあるのですが、その度合を正確に發見するのはなか〳〵困難なものださうですが「絹紙」によつてこれを判然と知る事が出來るので（詰）アブラの度合を知て（り）これを調節し、しかる後にお化粧をほどこせば眞にムラのない美しいお顔になるといふのでかくは人氣が出たわけであります。

◇…もう一つの日本紙の化粧法…これは名刺程の大きさの小方形にきつたチリ紙二十枚位に氣の利いた表紙をつけたいはゞチリ紙の手帳といつたものがパリッ子に可愛がられてをります。（妾）の眼には、たかがチリ紙（共）をと妙な氣がしますが、パリッ子はその小さい一片を大切に一枚づゝ剝しては唇の眞紅の紅をふきとるに役立てゝをります。

けふの番組

〔M・T・C・Y 新京放送局 三日（日曜日）〕

「朝」
六、二五 ニュース（東京）
六、三〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
八、〇〇 氣象通報
八、〇五 朝の音樂（東京）
九、三〇 子供の時間（東京） 管絃樂（解説付） おもちやシンホニー
日本放送交響樂團 指揮 服部正
一、玩具交響曲 シンホニー ハイドン作曲
二、「びつくり」交響曲 ハイドン作曲
一〇、〇〇 皇國宣揚武運長久祈願祭（名古屋）＝内宮神樂殿より中繼＝
一〇、〇四 講演（東京） 美濃部洋次
一一、一〇 經濟市況（東京）
一一、二〇 講演（東京） 七里重惠
一一、五九 時報（東京）
引續き 東京大學野球聯盟リーグ戰實況（東京）＝明治神宮外苑野球場より中繼＝

「晝」
一、〇〇 講演（全日滿放送）＝野球を中斷す＝ 滿洲の水力電氣事業 滿洲國水力電氣建設局長 工學博士 直木倫太郎
一、二〇 講談（東京）
一、五〇 ラヂオ聯曲（東京）
二、四〇 常磐津（東京）
＝野球なき場合放送＝
四、〇〇 ニュース（東京）
ニュース・氣象通報（新京）＝野球を中斷す＝

「夜」
六、〇〇 子供の時間（東京） 童話 愛馬鹿毛の出征 安倍季雄
七、〇〇 ニュース（東京） ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇 聯隊歌 （熊本）工兵第六聯隊歌 工兵第六聯隊有志 （鹿兒島）歩兵第四十五聯隊歌 歩兵第四十五聯隊有志 （宮崎）歩兵第二十三聯隊歌 歩兵第二十三聯隊有志
七、四〇 琵琶（東京） 豊田旭
八、一〇 ピアノ獨奏（東京） レオニード・クロイツァー
一、告別奏鳴曲 變ホ長調 ベートーヴェン作曲
二、軍隊行進曲 シューベルト作曲
八、三五 ラヂオ社會面（大阪）
九、〇〇 長唄（東京） 船辨慶 唄 坂田仙八 外 三味線 杵屋勝松 外
九、三〇 時報・ニュース（東京） 氣象通報・ニュース 告知事項・番組豫告（新京）
一〇、一五 ニュース再放送
アナウンサー 佐藤（朝） 野村（晝） 上森（夜）

クロイツァ教授の ピアノ獨奏

後八・一〇（東京）

ベートーウエンと シューベルトの曲

一、告別奏鳴曲 變ホ長調

作品八十一、第一（ベートーヴエン作曲）
第一樂章 別離 アダヂオ
第二樂章 不在 アンダンテ・エスプレッシーヴオ
第三樂章 再會 ウイウアーチシマメンテ

ベートーヴエンのソナタには「月光ソナタ」を筆頭に「悲壯」「熱情」等の名稱がつけられ、夫々の名稱に相應して憶測を逞うした數々の物語が誠しやかに傳へられてゐる。これらの中にあつて唯一つ、ベートーヴエン自身に依つて標題を與へられたソナタが、一八〇八年に作曲されルドルフ太公に奉呈された變ホ長調ソナタである。各樂章の始めに記された三つの簡單な然し暗示的な作者の言葉……別離不在、再會……を探く味つてこの曲を聽くことは、萬言を費して書かれた解說を讀むよりもこれの正しい鑑賞者であらう。

二、軍隊行進曲（シューベルト作曲）

ピアノに、吹奏樂に、管絃におなじみの、ドイツ軍隊の忠勇果敢な精神を謳歌した行進曲。

童話 愛馬鹿毛の出征

後六・〇〇 東京より 安倍季雄

△……今年の八月、南部の〇〇産馬組合に、十歳以上の老馬徵募の指令が來た。村の名物男茂作は、それをきいて、早速愛馬鹿毛を連れて來た。組合員は、そんなチッポケな馬は駄目だ。檢査ではねられるからよせ、といつたが、茂作は承知しない。代價も入らぬ。旅費も自分持ちでよいから是非連れて行つて貰ひたいといふ。組合員もその熱心にほだされ、連れて行くことにした。鹿毛と兄弟のやうに育つた芳藏と吉次は、鹿毛が自分達の代に出征すると聞いて、泣いて別れを惜んだ茂作は七頭の馬と一緒に貨車にのせられ、酷暑の七日七夜を殆んど寢ないで馬の世話をした。うん氣にヘコたれた同車の青年興助の世話までした目的地についた檢査がはじまつた。鹿毛の番になつた。檢査官が「此馬は身體がいゝが身長がたりない」といつた。茂作は「旦那、おれは日露戰爭の生殘りだ。長男は滿洲事變で戰死をした。あとの子供はまだ小學生で、今度のお役には立たない。

△……せめて この鹿毛だけでも出征させて下さい。俺が子よりも可愛がつて居る此鹿毛を」といつて泣いた。檢査官も感激して「合格」といつた。「鹿毛喜べ、お前は俺達の代りに天子樣のお役にたつのだ」茂作は鹿毛を厩に引つぱつて行つて水できれいに身體を洗つてやり、最後の別れをつげて宿に歸つた。夜中、大勢の客が雷の如き鼾聲に夢を破られて憤慨、その男の鼻をつねれといつた。その時、七日七夜茂作と同車した興作が「あれは茂作爺さんだ馬が大切だといつて、七日七晩寢ないで世話したあの男だ安心して八日目にはじめて安眠したのだ。默つて寢かして置いてくれ」かういつて頼んだ。皆が「さうだ〳〵」といつて快く寢かしてやつた。愛馬鹿毛は多數の馬と共に翌日船にのせられて戰地に向つた茂作は再び泣いて埠頭で別れを惜んだ。鹿毛の武運の長久を皆さんと一緒に祈りませう。

（長）（唄） 船辨慶

唄 坂田仙八 三味線 杵屋勝松

後九・〇〇（東京）

「今日思ひ立つ旅衣、今日思ひたつ旅衣、歸洛を何時と定めん「斯樣に候ふ者は、西塔の傍に住まひする、武藏坊辨慶にて候、さても我君判官殿は、頼朝の御代官として平家を亡したまひ、御兄弟の御仲日月の如くに御座候べきを、言ひかひなき者の讒言により、御仲違はれ候こと、返す〳〵も口惜しき次第にて候、然れども我君親兄の禮を重んじたまひ、一と先づ都を御開きあつて、西國の方へ御下向あり、御身に過なきとほりを御嘆きあるべき爲に、今日夜をこめ淀より御船に召され、津の國尼ケ崎大物の浦へと急ぎ候、本調子「頃は文治の初つ方（合）賴朝義經不會の由、既に落居し力なく、判官都をちこちの、道遙かなる西國へまだ夜深くも雲井の月、出づるも惜しき都の名殘（合）一と年平家追討の、都出には引きかへて（合）唯十餘人すご〳〵と、さも疎からぬ友船の上り下るや雲水の、身は定めなき習ひかな「世の中の人は何とも石淸水、人は何ともいは淸水、澄み濁るをば神ぞ知るらんと、高き御影を伏拜み行けば程なく旅心、潮も浪も共に退く、大物の浦に着きにけり「如何に申上候、恐れ多き申事にて候へ共、靜を御供にては今の折節何とやら似合はぬ樣に候へば、是より都へ御歸しあれかしと存じ候へ「兎も角も辨慶はからひ候へ「畏つて候（合）如何に靜殿、御心の中察し申して候さりながら、世の人口もいかゞにつき、是より都へ御歸りあれとの仰せにて候「靜は君の御別れ、遣る方なさにかき暮れて淚にむせぶばかりなり「判官も哀れと見給ひて、まことに此度思はずも、落人となり下る身を、是まで遙々慕ひ來る志返す〳〵も神妙なりさりながら、遙々波濤を凌ぎ下らんこと然るべからず、先づ此度は都へ上り、時節を待てとの御言葉「辨慶共に慰めて、唯人口を思すなり、御心變るとな思ぞ「いや兎に角に數ならぬ、身には恨みもなけれども、それは舟路の門出なるに、浪風も靜を止め給ふかと 合「涙を流し木綿四手の、神かけて變らじと、契りし事も定めなや、實や別れより勝りて惜しさ命かな、君に再び逢はんとぞ思ふ「如何に辨慶靜に酒をすゝめ候へ「畏つて候「實に〳〵是は御門出の、行末千代ぞと菊の盃、靜にこそはすゝめけれ「義の舟路の門出の和歌、是に烏帽子の候、召されて候ひて唯、一と奏し勸むれば「立ち舞ふべくもあらぬ身の、袖打ふるも恥しや二上り合「傳へ聞く、陶朱公は勾踐を伴ひ（合）會稽山に籠り居て、種々の智略を廻らして終に呉王亡して、勾踐の本意を達すとかや、功成り名遂げて身退くは、天の道と小船に棹さして、五湖に樂しむ本調子「斯かる事しも有明の、月の都を振り捨てて、西海の波濤に赴き、御身の科のなきよしを、歎き給はゞ賴朝も、終には靡く靑柳の、枝を連ぬる御契り、などかは朽ちし果つべき唯たのめ「唯賴め、しめぢが原のさしも草、我れ世の中に在らん限りは「斯く尊詠の僞りなくば、やがて御代に出船の（合）船子共はや纜をとく〳〵と勸め申せば判官も、旅の宿りを出で給へば（合）靜は泣く〳〵烏帽子直衣脫ぎ捨て（合）淚に咽ぶ御別れ、見る目もいとゞ哀れなり、急ぎ御船を出だすべしと、立ち騷ぎつゝ舟子共（合）えいやえいや、えいやえいやとゆふ潮に、連れて船をぞ出だしける 合「あら笑止や風が變つて候、あの武庫山おろし弓弦羽が嶽より吹き下す嵐に此の船陸地に着くべき樣もなし、皆々心中に御祈念候へ「如何に武藏殿、此船にはあやかしが附きて候「あゝ暫く、左樣の事をば船中にては申さぬ事にて候 合「あら不思議や海上を見れば、西國にて亡びし平家の一門、各々浮び出でたるぞや、斯かる時節を窺ひて、恨みをなすも理なり「如何に辨慶「御前に候「今更驚くべからず、たとへ惡靈恨みをなすとも、そも何事の有るべきぞ、惡逆無道の其つもり、神明佛陀の冥感に背き、天命に沈みし平家の一類主上を初め奉り 合「一門の月卿雲霞の如く、浪に浮びて見えたるぞや「抑々是は、桓武天皇九代の後胤、平の知盛幽靈なり「あら珍らしや如何に義經「思ひも寄らぬ浦浪の聲をしるべに出船の（合）聲をしるべに出船の、知盛が沈みし其有樣に、又義經をも海に沈めんと、ゆふ波に浮べる長刀取直し、巴波の紋、あたりを拂ひ、潮を蹴立て惡風を吹きかけ、眼も眩み（合）心も亂れて、前後を忘ずるばかりなり「其時義經少しも騷がず、其時義經少しも騷がず打物拔き持ちうつゝの人に向ふが如く、言葉を交はし戰ひ給へば、辨慶押し隔て「打物業にてかなふまじと、珠數さら〳〵と押もんで「東方降三世、南方軍荼利夜叉、西方大威德、北方金剛夜叉明王合「中央大聖不動明王の、索にかけて祈り祈られ 合「惡靈次第に遠ざかれば、辨慶舟子に力を合はせ（合）御船を漕ぎ退け汀に寄すれば、なほ怨靈は慕ひ來るを、追ひ拂ひ祈り退け、又退く汐にゆられ流れ、また退く潮にゆられ流れて（合）跡白浪とぞなりにける

學藝

十月行文帖

大内隆雄

シャルル・ルイ・フイリップの「若き日の手紙」を讀み返してゐたら、ゲーテの「ウイルヘルム・マイスターの遍歷時代」について「美しいが退屈な物語」といふ評語を書いてゐるのを見出した。いや「退屈だが美しい物語」であつたかも知れぬ。

その文字にぶつつかつて、久しくそのやうな作品を讀まぬことに氣付いた次第であつた。時代の激しさは、美しく退屈な物語の存在などを許さなくなつたものかも知れぬ。美しくて退屈なしの反對は何であらうか。醜惡だけれども興味のある、といふ事になるであらうか。さしづめ多くの探偵小説などは此の範疇に這入るであらうか。然らば戰爭小説は如何？これはまた違つた種類のものであらう。悲壯にしてスリルある、といふことでもあらうか。

□

僕の知つてゐる或る外人がヴアンダイクの探偵小説を讀んでゐた。その男は酒を好みゴルフを好み、ダンスにも行けば狩獵にも行くといふ實業家であつたが、彼に此の讀書振りあるを見て興ある思ひをした。

ヴアンダイクのもの丶如き相當高級な讀み物に屬するであらう。その程度のものを讀む事は、インテリの外人にとつては常識的な事かも知れぬ。ヴアンダイクは讀んでも、ジイドなどは讀まぬのが大多數であらう。それに比べると、日本のインテリはジイドなどをむさぼるやうに讀んでゐるらしいのは奇異である。これもまた「日本的な」風習の一つではないのか。

□

近頃實に長々とした論文が流行るやうである。その例證は滿日の學藝欄などに屢々ある。ところでそれに書いてある事といつたら、極めて僅少の事なのである。少しの事を言ふのに多くの文句を使ふ必要は無いであらう。殊に新聞の學藝欄など、それに應じた構造で書いてほしいものである。だら〱として、讀む方で疲れるのは御免蒙りたい。

□

僕の本箱の中に、『ニュー・マッセズ』が一册ある。ひまがあつたら一度讀み返して見やうと思ひながら、仲々取り出せずそのまゝになつてゐる。

□

「酒肉的朋友」といふ語、支那に在り。漢字で書くといゝ感じでも無いが、氣の合つた彼等とカフエーなどに行きこれを言つて肩たたけば大いに好い感じである。

□

忙中諸友にも會ひながら仲々ゆつくり話すひまも無い。友人諸君が最近の讀書によつて持たれた感想など大いに聞きたいのだが、それも仲々出來ない。ひとつ張り込んでお互ひこの欄などにさうしたものを書くやうにして貰へないものか。夜氣清爽、この季節に内的な收穫を一人占めにするよりは、と思ふのである。（一〇、一）

異常神經

北川あき子

さゝへもなく中空にふわりと浮きてゐるアドバールンもやはりくはせものにかあらん

力一ぱい打ちはしつれたかが蠅一匹いら立ち心に何のかかわりやある

蚊のうなりしばらくはリズムと聞きをれど厭ほしくなりてたゝき殺せり

はり切つた姿體に若々しい咲笑負けるものかときほへど我が笑ひの空虚さよ

笑ひつゝ臀のうつろに驚きて見廻せど人にかゝわりなき事

人の命來世ありなどとまことがに言ひをれど死ねば他愛なき一握の灰

心野顔にホホと笑へど今の事何もおかしくなし世わたりといふ

意識しておかしくもなきに笑ひたれば人驚きて我を見にけり

苦力市

堀江信夫

朝風がやさしく頬にきた。
青空は　古ぼけた家並から塵埃によごれた並木の梢にあつた。
街角に群がつてゐる苦力のなかには
老人や紅顔の少年がをつた。
陽に焦げた顔　古帽子の下にしよぼ〱と黒い瞳、
その瞳には秋空が　やがての厳しい氷原につゞく日が、
みんなはその黒い手を　背に感じてゐるのであらう。
トラックは苦力を滿載すると　砂塵をまいて步きだす。
物賣の呼ごゑ　客馬車の蹄のひゞき。」
通りはやうやく雜沓しはじめた。

本欄紹介を望の新刊は本社編輯局宛一部御寄附相成度し（係）

△巖松堂中國滿蒙關係文獻資料誌　表題通りの圖書目錄であるが記事として西藤辰雄氏の「民族主義者の一つの主張」米良晃氏の「滿洲の特産物」がある（新京東一條通一六、巖松堂書店新京支店）

△金融經濟月報（八月）七月中の經濟各方面の狀況について記述（新京北大街滿洲中央銀行調査課）

△精軍（九月十四日號）「滿洲國内治安概況」「悼密山六勇士」その他（治安部調査課）

△綠十字（第二十八號）森脇襄治「諸外國結核事業管見」その他（大連市外小平島保養院内、綠十字會、二錢）

△中道（九月號）武田克「戰禍の上海より」小柳形一「事變直前の天津を觀て」その他中銀社員の諸記錄等（新京北大街、滿洲中央銀行中道編輯係、非賣品）

△月刊滿洲（十月號）今度から滿洲版、日本版一様になつた、林君彦「北支事變の轉禍爲福」石敢當「滿洲隨話」庄司通惟「滿洲街頭風景」佐々木文哉「石油時代に躍る怪滿人」黄色い夏のゴシップ集等例によつて賑かであるが九ポ組が多くなつたのは氣になる、（撫順東八條通四七、月刊滿洲社、三十五錢）

△實業之世界（十月號）戰時體制下の財界に訊く、戰爭下の臨時議會を語る、讀み物解剖ページの三つの特輯があり仲々讀むべきものがある（東京市芝區芝公園五號地一〇一三、實業之世界社、三十錢）

△物價賃銀調査月報（第九一號）本年七月分の調査（關東局官房文書課）

△經濟計報（九月號）八月の大連財界情勢と諸統計を掲載（大連市敷島町八二、大連商工會議所、三十錢）

△電々（十月號）北支特輯である、それも派遣社員の活動を中心に多くの記事を盛りいかにも電々の雜誌としての面目がある（新京大同大街六〇一、電々倶樂部、二十錢）

国都醫院案内

本欄一手取扱 滿洲國通信社

赤泉醫院　内科　皮膚科　性病科　大經路八十三號　民政部より南一丁目　電2・三九五一番

鈴木病院　新築落成　産婦人科　(病室完備)　醫學博士 鈴木 紀　新京清和街七〇二(白樺寮南三丁)　電2・一八八七番

吉野醫院　小兒科專門　レントゲン科新設　入院隨意　新京神社南角　電3・五二四三

安達醫院　内科・花柳病科　産婦人科　入院應需　日本側通賦内入口　特別市永康莊一〇五　電2・一二九〇番

肥後醫院　産婦人科　花柳病科　小外科　内科　小兒科　女醫 松井艶子　院長 肥後弘子　ダイヤ街老松町朝日通　入院往診隨意　電3・五七〇九・三二九〇番　醫院產婆 松元千代

太田醫院　小兒科專門　入院隨意　新京神社南側　電3・三八三九

知識眼科　眼科專門　(入院隨意)　醫學士 知識吉彦　新京大和通り　電3・六六四六番

田島醫院　産婦人科　女醫 田島靜子　新京興安大路四〇　電2・二六〇七番

縁醫院　ホームドクター　院長 住吉彌也　長春大街護國般若寺筋向　電話②②五一〇一・五一〇二番

外科性病　上山醫院　院長 醫學士 上山源六　入院隨時　朝日通二十一番地　電3・五七九五番

長岡醫院　皮膚性病科　外科專門　光輝路二〇四　憲兵隊東側　電話三・七六六六

小兒科　長春醫院　院長 德丸スガ　入院隨意・往診應需　新京神社ノスグ前　ムニヨイ　電3・六二四一番

山崎齒科　レントゲン設備　中央通西公園前　電3・五八〇三番

三谷醫院　呼吸器科　胃腸病科　レントゲン科　新京崇智路一〇八　電2・四八六九番

畑醫院　内科　性病科　産婦人科　(入院隨時)　主 畑 基　新京新發屯豐樂路　モンテカルロ南隣　電②・一三二〇番

同仁醫院　皮膚・泌尿科　外科・性病科　(入院隨時・日赤救療所)　醫學博士 市橋貞三　新京富士町二丁目　電3・二六〇六番

深町醫院　皮膚泌尿器科・性病科　内科小兒科・外科　耳鼻咽喉科・産婦人科　レントゲン科・物療科　院長 醫學博士 深町穗積　八島通　電(3)六六八・五一四二・五一六二三

康德醫院　産婦人科　内科　花柳病科　吉野町四丁目廿一　女醫 柴田すぎ　病室完備　入院往診隨意　電3・五三九七番

堂脇醫院　小兒科　内科　新京吉野町一丁目ニコイ　目下醫院新築中　電3・五五一一番　(場所中央通西公園前)

新都病院　院長 醫學博士 饒村佑一　内科　産婦人科　小兒科　皮膚性病科　×各科專門　本院 新京慈光路　電22二一〇六・二二五七番

松本醫院　内科・外科　兒科　肛門　男女性病科　日本橋通り　電3・三七五六番

小兒科　淺井醫院　入院隨意　(崇智路ト興亞街ノ交叉點)　新京崇智路六一六　電2・一六〇五番

中市醫院　産婦人科　花柳病科　内科　病室完備　滿鐵病院東門前　電3・三九〇二番　(日本赤十字社救療所)

豐樂堂醫院　專門　花柳病科　肛門病科　豐樂路公設市場入口　電2・三二九七番

順天醫院　内科　外科一般　入院室完備　院長 醫學博士 小濱茂穗　日本橋通中谷時計店向入ル　電3・三八九〇(受付)・三六七七(病室)

養生堂醫院　内科・小兒科・産科　婦人科・物療科　院長 河野五百里　(記念公會堂前)　電3・三一七一番

植醫院　新築落成　小兒科・内科　花柳病科　病室完備　興安大路二五　電22・一一九五・八九八〇番

大森醫院　一般外科　内臓外科　痔疾性病　新京永樂町二丁目　電3・四七四三番

先づ奥樣方の手で燃料の節約運動
煖房設備、石炭の購買等に委員會が積極的指導
家庭の燃料國策

新京煤煙防止委員會では第一回委員會を開催の結果本年度は專らその國策的見地より燃料節約運動を起す事となつたが、國都で一年間で消費する石炭の量五十萬噸の内二十萬噸に達する一般家庭燃料を重視國防婦人會等を動員せんと計畫中で、これが直接指導相談には取敢えず日滿商事燃料相談部をもつて當らしめることゝなつてゐる、即ち今から一、二ヶ月の間は主として理想的な煖房設備の方法、石炭の選擇及購買等に主力を注ぎ愈よ多期に入つてからは石炭の焚き方等の徹底、普及に力を注ぐこととなつてゐる、同社では實際消費者側の立場にたつて經濟的な石炭の購買をも斡旋することとなつてゐる、尚大興ビル裏手には種々なストーブ、ペチカ等をとりつけて實驗してゐるから主婦方がお買物の歸り等に五、六名宛一緒にくれば係員が一々手にとつて經濟的な石炭の焚き方を傳授する筈

料理店組合の第二回献金デー

大新京料理店組合が全滿料理店に魁けて月に一度の公休を廢しその日を献金デーとして當日の賣上金總額を國防費に献納しやうとする献金報國計畫は各方面の注目裡に第一回を去月第一日曜五日に實施三千七百七十圓を献納するの異狀の好成績を收めたが、その第二回を本月の第一日曜三日に實施することゝなり組合員全業者は前回に勝る成績を擧げんものと張り切つてゐる、尚この計畫は月に一度の公休日であり長く繼續して醜酌婦の樂しかるべき日を奪ふことも彼等のため考慮するの必要ありとする當局の意見に從つて第二回を以て打切ることに決定しさらに時期を見て實施する筈である

生魚扱者に對しコレラ豫防注射
昨防疫會議で協議

北支方面に發生のコレラは漸次蔓延の兆あり過般大連に發生したコレラは終熄するかと思ひの外一日に到り更に二名の患者を出しその系統等も更に不明なるところより新京防疫委員會はこれが萬全の策を講ずべく二日午後一時から滿鐵新京支社會議室にて防疫會議を開催した、滿鐵側から菅野地方課長事務取扱、宇野地方係長、保健所羽生秀吉博士、關東軍々醫部下山中佐、滿洲國民生部黑井博士、首都警察廳磯部博士、特別市公署張衛生科長、河崎係員、領事館警察青木警部、新京署平岡警部補、新京驛松井貨物主任其他出席直ちに會議に入り羽生博士より大連に於けるコレラ發生狀況につき民生部より北支朝鮮方面の防疫狀況につき説明ありついで防疫對策協議に移つたが若し新京にコレラが侵入すれば滿鐵々道以外になく乘客は既に滿鐵に於て處置を講じてゐるので單に警告に止め貨物の方は大連釜山方面からの生魚の移入を禁止すべしといふ强硬議論が出たが之は重大問題であつて直ちに實行は不可能であり結局發生地方面からの生魚移入は二、三週間位停止して貰ひたいといふ希望に止め改めて關東軍、關東局、民生部に於て協議して具體案を決定することゝなり取り敢へず生魚扱者に對し附屬地は滿鐵保健所、特別市は市公署に於て四日から豫防注射を行ふことゝし三時過ぎ閉會した

溥傑上尉・浩姫の御結婚披露宴
來る廿一日盛大に擧行

日滿親善の契り、皇帝陛下の御弟君溥傑上尉と勤王の名家嵯峨公勝侯の令孫浩姫との御婚儀は、去る四月三日九段軍人會館において滿洲國建國の功勞者男爵本庄繁大將夫妻の媒酌で取結ばれ、溥傑上尉は千葉騎兵學校御卒業後單身御歸京、禁衛隊附として軍務に精勵されてゐるが、新京における御二方の結婚披露宴は十二日神戸を出帆される浩夫人及び一足先に來滿の本庄大將夫妻の着京の上來る廿一日國都新京において兩家御親戚をはじめ關東軍、宮內府、政府關係の文武顯官多數を御招待盛大に擧行される筈で目下宮內府をあげて萬遺漏なきやう準備が進められてゐる、なほ披露宴會場は未定であるが、日滿軍人會館かヤマトホテルを選定される模樣である【寫眞は上溥傑上尉、下浩姫】

日本軍從軍者への稅減免、徵收猶豫
國務院令公布さる

康德四年勅令第二百八十八號の施行に關する國務院令は二日附をもつて公布された、右は支那事變のため國軍又は日本國軍に從軍したる者に對し地方稅の減免及び徵收の猶豫をなす必要を認め、制定公布されたもので、全文は左の七條よりなる

△康德四年勅令第二百八十八號の施行に關する件

第一條　支那事變のため國軍又は日本國軍に從軍したる者の營業稅附加捐及び地捐は左の各號により之を輕減し又は免除す

一、營業稅附加捐は營業稅の輕減又は免除に從ふ

二、地捐は地稅の輕減又は免除に準ず

第二條　前條に規定する者の戶別捐はその者の所得額を左の區分により算定し課稅標準を更訂して之を輕減すべし

一、俸給、給料、年金、退職料およびこれ等の性質を有する所得額については其の所得額より從軍中において受くべき俸給、給料および手當を控除す

二、前號以外の所得額については其の年額の四分の一以上を減少したる場合に限り實蹟金額による

前項の規定により更訂したる課稅標準が縣、旗、市の定むる課稅最低限に達せざるときはその年分戶別捐の課稅を免除す

第三條　前條の規定は第一條に規定する者の康德五年分以後の戶別捐の課稅標準の計算およびその更訂につきこれを準用す

第四條　納稅義務者第一條又は第二條の規定により地捐又は戶別捐の輕減又は免除を得んとする時はその事由を具し縣、旗、市長に申請すべし

第五條　第一條に規定する者從軍中死亡したるときはその死亡の日以後に納付期限の到來するその年分戶別捐の徵收を免除すべし從軍中受けたる傷痍疾病に起因する死亡については前項の規定の適用については之を從軍中の死亡と看做す

第六條　第一條に規定する者の納付すべき地捐又は戶別捐にして從軍後に於て納付期限の到來するものは六月以內其の徵收を猶豫すべし前項の規定の適用を受けんとする者はその事由を具し縣旗市長に申請すべし

第七條　第四條又はその認むる所に依り地捐又は戶別捐の輕減免除若くは徵收猶豫をなすことを得

附　則

本令に公布の日より之を實施す

大使館當局談

出征軍人の免稅に關する滿洲國法令の在滿邦人適用方に關する日本大使館當局談左の如し

今次事變に當り友邦滿洲國政府は共同防衞の見地より日本政府に對し各般の協力的措置を講じてをらるゝことは感謝に堪へぬ次第であるが、同政府は日本政府の措置に對應し十月二日より滿洲國軍又は日本軍に從軍する者に對し或種の免稅又は徵收猶豫をなすこととなり、右關係法令を同日より在滿日本國臣民（滿鐵附屬地を除く）にも適用し度き旨申入れがあつたので、日本政府は欣然これに同意しその旨同日附官報に告示するに至つた次第である從つて在滿日本國臣民の今回出征した者は右法令の範圍內において免稅又は徵收猶豫の特典を受け得る譯である

勅諭三百枚献納
慰問文や献金とゝもに相次で本社へ寄託

▲皇統連綿天壤無窮の皇祖皇宗、神勅、詔書、勅書、勅諭、御製を奉戴し臣民擧々服膺の誠心誠意を以て奉答せむことを誓言す、との誓ひのもとに組織され東京淀橋區新宿角筈一、八五六に在る天壤無窮會は新京特別市興運路に支部を置き明劍神教流劍道教授中村彥太氏が支部長となつてゐるが二日同氏ゝ東京本部常任理事關金太郎氏は本社を訪れ、皇軍慰問として謹書された勅諭三百枚を献納したしと寄託されたので直ちにその手續を了した

▲新京特別市慈光路新都病院長饒村佑一、副院長鈴木けい子、同院職員松永すま子、金子三喜枝、武田小夜子、澤泰子、吉澤りつ、國木美智、湯好子、小澤藤枝、伊藤治子、伊藤律、西方琢磨、菅原甲の諸氏は各赤誠こめた皇軍將兵に對する慰問文を認めため二日本社に持參、委託されたので直ちに關東軍へ廻送した

▲二日朝本社を訪れた一青年

銀銅貨とりまぜ五圓在中の封筒を皇軍慰問の献金にして下さい車馬賃やなんかを節約したもので些少ですが

私の微意ですからと寄託した、この奇特の青年は豐樂路七〇一渡邊秀夫君である

國民精神總動員大講演會
けふ午後二時・西廣場俱樂部

新京神社松樹寄附申込み續々到る

新京神社境內の白楊は樹齡老年に達し近き中に境內の美觀を損ずる事を憂ひこれが代りとして松樹を植ゑる事に決定その費用に充つる爲市內有志間に過日より寄附募集中なりしもその後成績良好にて有力者の申込續々あり現在の所百五十四口に達し、その豫定數に達せんとしてゐるので神社側では非常に喜んでゐる

天津方面コレラ發生狀況

大連水上署船舶警乘員よりの同所保安係員報告によると、九月卅日現在天津方面のコレラ罹病狀況は左の如くである

大沽十二名內六名死亡、塘沽二名、白河碇泊中の英船順天號、九名內二名死亡、計二十三名、死亡八名

神結ぶ慶び十組
きのふ大安吉日の賑ひ

秋深まる二日は大安戌の日の黃道吉日とて新京神社の神前結婚は左記の如く十組にのぼる盛況振りで正午より午後七時迄順次いとも嚴肅華やかにそれ〳〵執り行はれた

▲清明街二〇二滿洲航空會社奧原義雄氏（二八）と坂本益美さん（一九）

▲義和胡同四〇三小島安雄氏（二八）と藤原クマさん（二六）

▲東嵩路玉龍繁雄氏（二八）と渡邊民子さん（二二）

▲金輝路第三代用官舍西村菊雄氏（三四）と比嘉朝子さん（三三）

▲羽衣町益濟寮古川光男氏（三一）と田島カネさん（二五）

▲曙町三丁目高木市太郎氏（三二）と山代タマキさん（二四）

▲日本橋通七九藤井勇一氏（二五）と白水房子さん（二二）

▲安達街一二五山田恒次氏（二八）と吉田伊津子さん（二六）

▲崇智胡同一〇一興隆ビル內柴田福藏氏（二九）と武野ミツさん（二二）

▲中央通四二ノ二春田重德氏（二八）と上之原イトエさん（二八）

淨月潭行、土們嶺芋掘
愈よけふ出發
申込みは出發前迄受付け

秋風爽やかな郊外で大地に親しみ健康をたゝえんと本社の後援で新京の交通機關が催す淨月潭探勝會、土們嶺芋掘りは家族連れの散策に好適な運動と稱讃裡に愈よけふ淨月潭は國都建設局前、土們嶺は新京驛から午前十時、十時半にそれ〳〵出發するが間もなく蟄居を餘儀なくされる多を前にしての催とて一人でも多く誘ふ意味で特に配車を都合して出發前まで申し込みを受付けるから未申込者は出發場所へ定刻までに參集され度い

肺病酌婦の不正就業摘發

富士町三丁目朝鮮料理滿仙閣抱酌婦春子こと金朴達（三二）は昨年五月より許可を受け稼業中であつたが本年一月健康診斷の結果肺結核と診斷せられ新京署衞生係より治療を命ぜられたものであつたがその際當局に對しては廢業屆を提出し圖們方面に退去した如く見せかけそのまゝ同樓に居据つて樓主と結託、引續き稼業繼續中を同署保安係がこの不正を摘發した、尙樓主黃賢淑（四七）を召喚取調べに當つて黃は自己の不正を否認し爐僞の申出をなし不誠意極まる態度に出たのみならず同樓は之までも不正行爲によつて二回の科料處分に附せられたもので再三に亘る圖々しき不正行爲に當局では斷乎たる處分を以て臨む方針である

百貨店荒し萬引き捕はる

昨年末より市內百貨店に於て頻々たる盜難屆出ありかねて新京署では犯人搜査中であつたが、去月廿九日午後八時三十分頃同署二田口刑事が日本橋通金泰洋行內に張込み警戒しつゝあつたところ一滿洲國人の萬引現行犯を發見有無を言はさず取押へ頭强に口を緘した犯人を追窮の結果二日一切を自白した、右は旅順生れ住所不定、竊盜前科二犯邵方丹（三一）で昨年十一月頃より三中井、金泰、滿洲國官吏消費組合等に於て前後三十餘件被害約八百圓餘の萬引を働いてゐたものであつた

矢吹、生江兩教授
昨夜〝はと〟で來京

〝國民精神總動員〟講演の爲滿鐵の招聘によつて來滿した大正大學教授文學博士矢吹慶輝及日本女子大學教授生江孝之の兩氏は大連、奉天の講演會を了へて三日午後三時より西廣場俱樂部に開催の講演會に臨むべく二日午後八時四十分着はとで柴崎總領事代理其他關係者に迎へられて來京、直ちにヤマトホテルに入つたが兩氏は驛頭左の如く語つた

▼矢吹教授＝新京の講演終了後の日程は哈爾濱、安東の二ヶ所の講演で全部を終り引上げる豫定である今次の國民精神總動員運動もまだ日の淺い關係か內地に於ても充分徹底してゐないやうだ、然し國民は事變以來物凄い緊張ぶりで殊に銃後の護りは緊張と共に合理的になされておりその何等の不安もない

▼生江教授＝新京には始めて足を止める、もつともロシア革命前後の長春時代に來た事はあるが、今回の渡滿以來講演會等の樣子から見てこちらの人々も非常に緊張しておられるやうだ、大連に於ては時局を中心として〝社會事業概論〟の演題に四日間に亘つて講習會を開催したが、時間の勵行されてゐたこと後程講習者の增加したことなど他の講習會等に見られぬ事象であり語るものだと愉快に思つた後の日程は當地の講演會を以て終り生江教授とは別れて歸國する豫定である【寫眞は驛頭にて矢吹、生江兩教授】

國防皇軍慰恤献金品（本社取扱）

一金九千七百二十七圓二十八錢
一慰問袋　千二百九十個
一千人針　九枚（關東軍司令部へ）
一金九百六圓〇三錢（駐滿海軍部へ）
累計　一万六百三十三圓三十一錢
……十月二日迄の分……

けふの天氣

北の風曇り後晴
日の出　前　六時三七分
日の入　後　五時一八分
月の出　前　六時一二分
月の入　後　五時一七分
きのふの氣温　最高　九度四　最低　八度三

女釣りの名人はそのコツを山口博士に教へて下さい、しかし山口さんはコイ釣りではなく鮒釣りだからそのお積りで……の池に釣糸を垂れて樂しんでゐる▲市立醫院の山口院長もその一人で毎日曜日朝の五時頃から橋本副醫長と共に白山公園に出掛けてゐるがこの人の釣りは仁を貴ぶ醫者だけに殺生しないのだから面白い▲白山公園の池に住む魚百匹を釣竿を介して順天公園に移す願をかけて八月頃から『浮木』を觀てゐるが▲あと二十數匹で滿願といふに大分寒さも加はり、それにいかな名醫も魚が集まる藥は未だ知らぬと見えて躍起となつてゐる▲昔から魚釣りは女を釣るのと共通點があると謂はれてゐるから

フレンソーダ

新京にも太公望が多くなつて西公園大同公園順天公園

六大學リーグ戰
立教6—0帝大

【東京國通】帝立一回戰は六對零で立教快勝す

立教	001012002	—6
帝大	000000000	—0

明治4A—1法政

【東京國通】二日擧行された明法一回戰は四A對一で明治先勝

法政	000001000	—1
明治	10000003A	—4A

教育會体育大會
午後の戰績

夕刊既報、第四區教育會主催體育大會は降らず照らずの運動日和に午前十時より西公園グラウンド、八島、室町兩校と三ヶ所に分れて競技を開始したが、午後一時頃より降り出した雨と多を思はせる氣溫の低下に少年選手は苦しめられまた幾度か競技の進行を阻まれつゝも元氣に繼續し左記各校が優勝、午後五時より閉會式に移り優勝校に對してそれ〳〵褒彰及賞品授與の後明日八島校長閉會の辭を述べ萬歲三唱、國旗降納午後五時半盛會裡に體育デーの行事を終了した

▲ハンドボール優勝戰（六年男）普通學校2—1八島校
▲バレーボール優勝戰（六年女）公主嶺校2—0八島校
▲四百米リレー
一、六年男子の部
1、三笠校
2、西廣場校
一、六年女子の部
1、白菊小學校
2、普通學校

新京區公示第二十二號

新京附屬地荷馬車通行取締規定左記ノ通制定セラレタルニ付公示ス

昭和十二年十月一日

南滿洲鐵道株式會社新京支社地方課長事務取扱　菅野誠

記

一、專用道路ハ荷馬車ノ通行ヲ制限ス

二、制限道路ト制限道路ノ二種ニ區分シ左記ニ依リ荷馬車ノ通行ヲ制限ス

專用道路ハ荷馬車ノ種類索引馬ノ頭數ヲ問ハス自由ニ通行シ得ルモノトス

制限道路ハ鐵輪荷馬車ノ通行ヲ絕對ニ禁止シ左記ニ該當スル荷馬車ノミ通行ヲ許可ス

イ、ゴム輪（又ハ之ニ準スルモノ）ナルコト

ロ、積載量壹噸半以下ナルコト

ハ、索引馬ノ頭數ハ壹輛ニ付壹頭ナルコト

三、但シ驛前廣場ノミハ荷馬車ノ通行ヲ禁止ス

四、六米突以上ノ長大物ヲ運搬スル場合ハ荷馬車ノ種類通行道路ノ如何ヲ問ハス警察署ノ許可ヲ受クヘシ

五、荷馬車以外ノモノニシテ道路ヲ破損セシメ又ハ通行妨害ノ虞アルモノノ通行ニハ許可ヲ受クヘス

本規定ハ昭和十二年十一月一日ヨリ之ヲ實施ス

昭和十二年十月一日

新京警察署
滿鐵新京支社

義人長七郎（六十）

（舞臺上演映畫化）中川雨之助　竹枝一郎畫

お墨付争ひ（二）

「ヨウ〜どうか御遠慮なく。お調べなすつておくんなさい。さうして謝つた方が、あたし達も結構ですよ。あの人の素性も知れ、いろ〜と世間の人から色眼鏡で、見られる世話も要らなくなりますからね」

「ヘン、利いた風なことを言やアがつて、いまに吠面かかねえやうにしろッ」

憎々しい嚴吉の言葉をあとに聞き捨して、お銀は小急ぎに、サッサと家へ戻つて行くのです。狭い薄暗い横丁を通りぬけながら、そとは、やつぱり女です

「どうかして、嚴吉の手を逃れて軍平さんが無事で居られるやうに……」

と、とどろく胸を押へながら、念じるのでした。

そして我家へ來て、戸口を開けてみると、家の中に灯は點つてゐるけれど、軍平の姿は、何處にも見えません。

「やれ嬉しや」

と、お銀は、ホッとしました。そこへ嚴吉等がドカ〜と、追かけるやうにして押込んで來ました。

しかし、居ないものは仕方がありません。相手が浪人ですから、踏込んで家探しするほどの勇氣もなく、さん〜厭がらせを言つて一同は引揚げました。

「どうもお生憎さま、なんなら明日の朝、もう一度出直して來ておくんなさい」

と、引揚げて行く一同のうしろから、お銀は皮肉を浴びせました。

一同の足音の、次第に遠ざかつて行くのを聞きすましたお銀は、早速立ち上りました。

「この間に、一刻も早くお墨付を長七郎樣に……」

そして、お墨付の入れてある簞笥の抽斗に手をかけました。しかし軍平の失望や、怒りを考へると、さすがに胸が躍るのでした。その時でした。

突然、何處かでゴト〜といふ怪しい物音が致しました。

お銀はびつくりして、思はず手を引込めたのでした。

またゴト〜と、物音が聞えました。

それが、ツイ傍の押入れの中なのです。

「おほかた鼠だらう」

と思ひながら再び簞笥に手をかけようとした時、意外にも押込みの襖が、中からスーッと開きました。

お銀は「あッ」と驚きました。

お銀が驚いたのも道理です。押入から出て來たのは、不在だとばかり思つてゐた軍平だつたからです。おまけに軍平は、草鞋、脚絆に身を固めて、スッカリ旅支度をして居るのでした。

「捕方が、このあたりまで、立ち廻つて來るやうでは所詮駄目だから、今夜の中に、一ト先づ姿を晦さうと思ふ。そなたにも種々世話になつたが、この上、なほ拙者のために世間から疑ぐられ迷惑をかけては相濟まぬ。いづれ餘熱の冷めるのを待つて、再び江戸へ引返して、長七郎さまにもお目に懸り、豫ての望み通り、彼の君を盟主と仰いで旗揚をする……」

軍平は小聲で、慌ただしく言ふのでした。

戸外の氣配に氣を配りながら、それを、殆ど上の空で聞いて居るお銀なのでした。彼女の心は、それよりも肝腎の御墨付のことで一ぱいになつて居るのです。墨付は、いつたい如何するつもりなのであらうと、ハラ〜しながら軍平の氣持を考へて居るのでした。